

令和 5 年度
教育委員会の事務に関する
点検・評価報告書

令和 6 年 11 月
玉野市教育委員会

目 次

令和5年度基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・	1
玉野市教育振興基本計画の体系・・・・・・・・	2
玉野市教育委員会の機構及び事務分掌・・	3
令和5年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員・・・・・・・・・・・・・・・・	4
(2) 令和5年度教育委員会会議の開催状況・・	4
(3) 教育委員会議決案件・・・・・・・・・・	4
(4) 教育委員懇談会・・・・・・・・・・・・・	6
(5) 教育委員学校等視察・・・・・・・・・・	6
(6) その他の活動・・・・・・・・・・・・・	6
令和5年度教育費決算額・・・・・・・・・・・・・	8
令和5年度主要事業の点検・評価	
事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
施策① 充実した子育て環境の提供・・・・・・・・	14
施策② 教育環境の充実・・・・・・・・・・・・・	27
施策③ 学校教育の充実と地域人材の育成・・	31
施策④ 生涯学習活動の推進・・・・・・・・・・	40
施策⑤ 芸術・文化活動の推進・・・・・・・・	49
施策⑥ スポーツ活動の推進・・・・・・・・・・	52
学識経験者による意見・・・・・・・・・・・・・	60

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律】

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

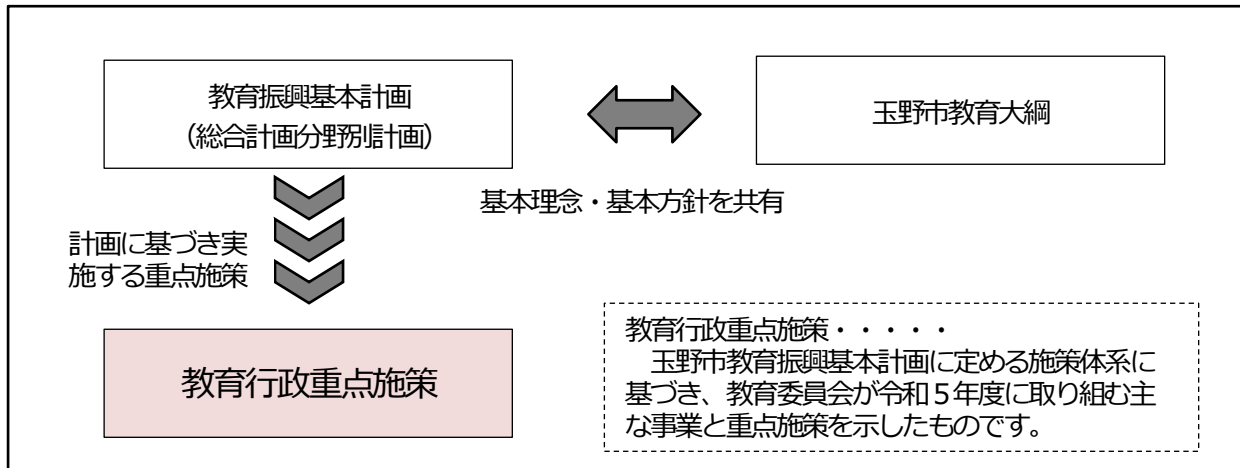
第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和5年度 教育行政重点施策 基本方針

本市は、玉野市教育大綱、玉野市教育振興基本計画（玉野市総合計画分野別計画）に基づいて教育行政を進めます。その中で、現在の社会状況やこれまでの取組状況を踏まえ、政策別に、今年度、特に力を入れて取り組むべき内容を「教育行政重点施策」として掲げました。

施策・事業の実施にあたっては、教育委員会が積極的に情報を発信し、関係諸機関や教育関係団体との連携のもと、広く市民の理解と協力を得ながら取り組みます。



玉野市教育大綱 基本理念

「 たまので育つ、TAMANO が育つ 」

子育てのしやすい環境の整備や様々な学びの場の充実など、「人が育つ」まちづくりを進めるとともに、玉野に愛着を持つ人を増やし、まちの活性化に繋げることで、みんなでまちを育てていきます。

「まちが人を育て、人がまちを育てる。」そうした好循環を生み出し、誰もが見てみたい、行ってみたい、いつまでも住み続けたいと感じられる、将来にわたって魅力的なまちであり続けることを目指すため、次の施策を実施することにより、人の「育ち」を支えます。

玉野市教育大綱 基本方針

1 希望をもって安心して子育てできるまち

子育て環境が多様化する中、結婚、妊娠、出産、子育て、仕事と育児の両立などに対する様々なサービスの充実や環境整備、ライフステージの各段階に応じた切れ目のない支援を行うことで、子どもも大人もみんなが希望をもって暮らせるまちを実現します。

①充実した子育て環境の提供

2 心豊かな人生がおくれる文化が薫るまち

グローバル化、デジタル化に対応した特色のある教育や、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む学校教育を推進することで、自分の将来に夢と責任を持ち、将来にわたって自己実現を目指すために必要な力を育みます。また、多彩な文化・芸術、スポーツが身近にあり、気軽に楽しめ、生涯にわたり充実した学習や活躍の機会が提供されることで、喜びや感動に満ちあふれた豊かな人生をおくることができるまちを実現します。

①教育環境の充実

②学校教育の充実と地域人材の育成

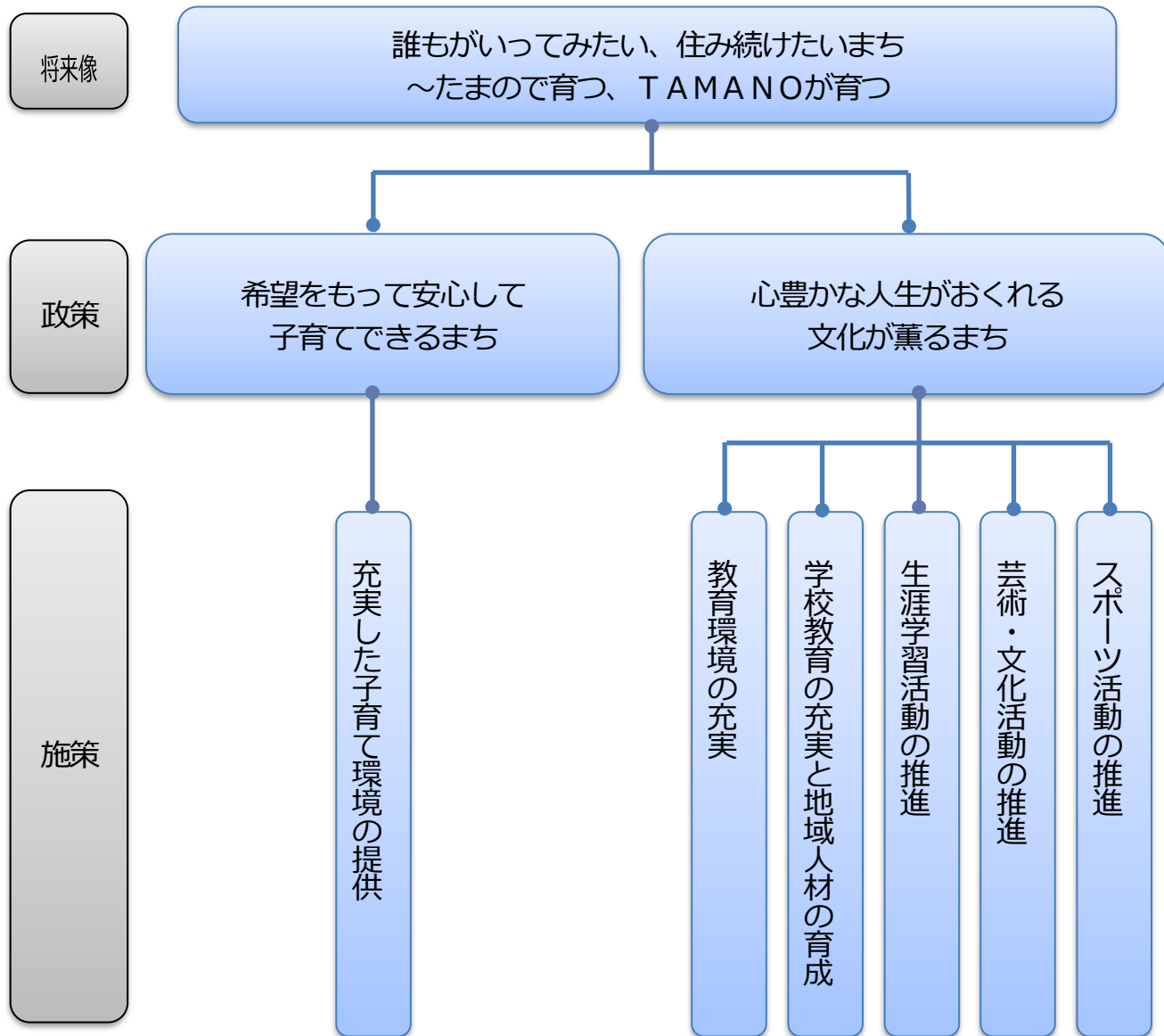
③生涯学習活動の推進

④芸術・文化活動の推進

⑤スポーツ活動の推進

玉野市教育振興基本計画

(玉野市総合計画分野別計画)



豊かな心と確かな学力を身につけ、自分の夢に向かって歩む子どもの育成

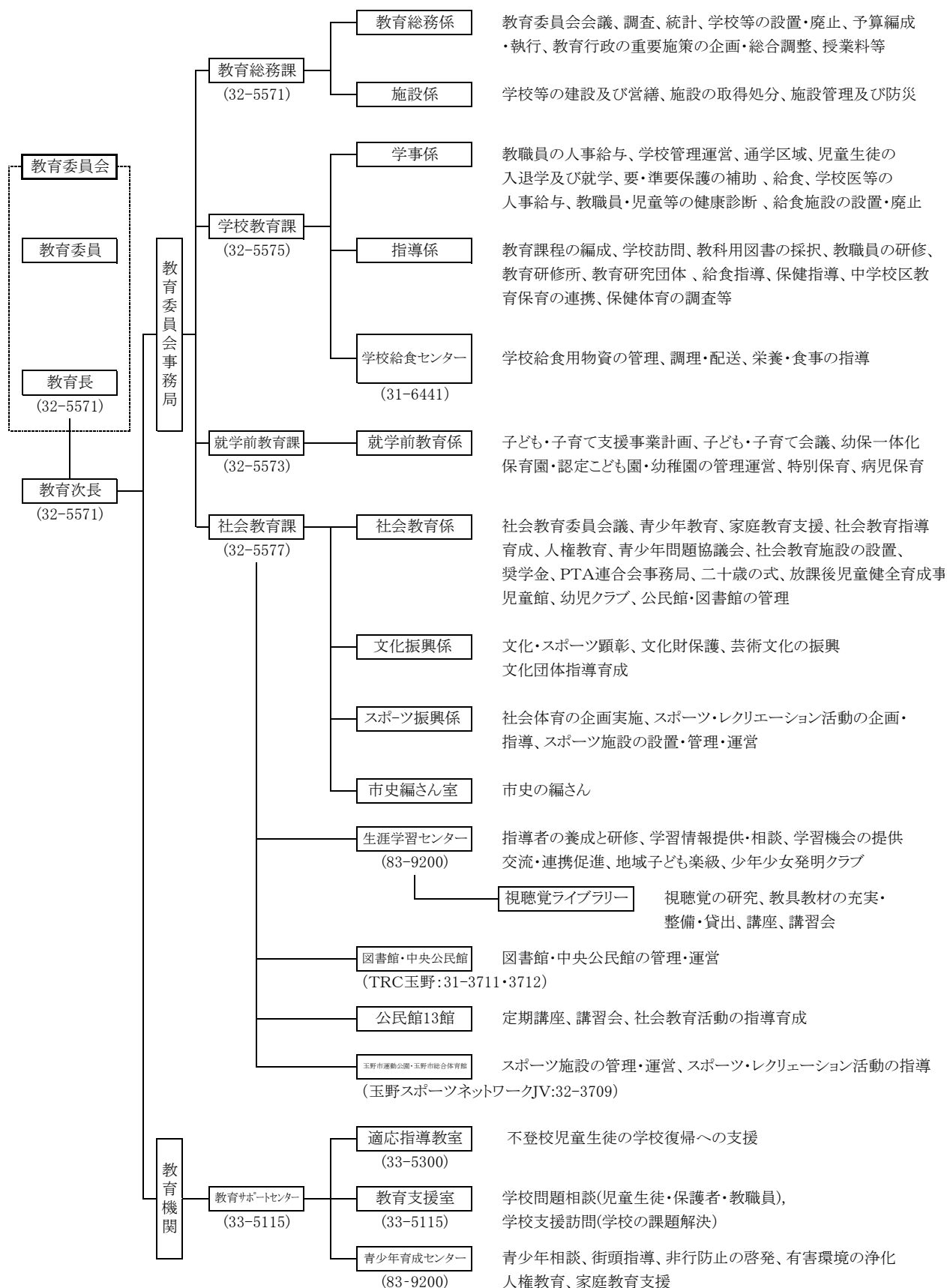
たくましく! まなんで のびるたまのっ子

玉野市教育委員会では、このスローガンのもと、様々な取組を推進しています。

中学校区一貫教育とコミュニティ・スクールを支える地域学校協働本部事業で地域とともにある学校教育・保育の充実を目指します。

教育委員会の機構及び事務分掌

[令和6年3月31日現在]



令和5年度教育委員会の活動状況

(1) 教育委員（令和6年3月31日現在）

役 職 名	氏 名	就任年月日	現 任 期
教 育 長	多田 一也	令和5年4月1日 1期目	令和5年4月1日～ 令和7年9月30日
教育長職務代理者	三宅 英次	令和3年4月1日 1期目	令和3年4月1日～ 令和7年3月31日
委 員	太宰 実千代	令和2年4月1日 1期目	令和2年4月1日～ 令和6年3月31日
委 員	二宮 崇	令和4年4月1日 1期目	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日
委 員	横山 純子	令和5年4月1日 1期目	令和5年4月1日～ 令和9年3月31日

(2) 教育委員会 会議開催状況 () は非公開

開催日	教育長報告	議事	協議	その他	開催日	教育長報告	議事	協議	その他
4/ 6	1		3	4	10/10				2
4/25		5	2	4	11/ 1			(1)	1
5/ 9	1	1(1)	1	2	11/14		(1)	(1)	2
5/23		2(1)	1(1)	2	12/ 5		(2)		
6/13	1	2(2)		2(1)	12/26	1	2		3
7/11	1	3	1(1)	3	1/23				2
7/25		3	1		2/ 6	1	(1)		1
8/ 7		(2)			2/20		4(1)		2
8/22		1		5(1)	3/21		5	3	1
9/26	1	2(1)	1						

計	教育長報告	議事	協議	その他
19回	7	42	17	38

(3) 議決案件

No.	月 日	議 決 事 項
1	4月25日	玉野市教育情報セキュリティポリシー対策基準の策定について
2	4月25日	令和5年度学校運営協議会委員の委嘱について

3	4月25日	玉野市部活動地域移行検討委員会設置要綱の制定について
4	4月25日	玉野市公民館運営審議会委員の委嘱について
5	4月25日	玉野市立図書館協議会委員の任命について
6	5月9日	令和6年度使用玉野市教科用図書（小学校）の採択について
7	5月9日	たまのっ子育成支援委員会委員の委嘱について
8	5月23日	令和6年度使用義務教育諸学校（小学校・中学校・特別支援学級）および高等学校教科用図書採択基準等について
9	5月23日	玉野市奨学生選考委員の委嘱について
10	5月23日	社会教育委員の委嘱について
11	6月13日	令和5年度6月補正予算（教育委員会関係分）について
12	6月13日	令和5年度玉野市奨学生の選考結果について
13	6月13日	部活動地域移行検討委員会委員の委嘱について
14	6月13日	令和5年度学校運営協議会委員の委嘱（追加分）について
15	7月11日	令和5年度学校運営協議会委員の委嘱（変更分）について
16	7月11日	玉野市立玉野商工高等学校学則の一部改正について
17	7月11日	令和6年度玉野市立高等学校入学者選抜実施大要について
18	7月25日	玉野市教育委員会事務局等の職員の服務規程の一部改正について
19	7月25日	玉野市立学校職員服務規程の一部改正について
20	7月25日	玉野市文化財保護委員の委嘱について
21	8月7日	令和6年度使用玉野市教科用図書（小学校）の採択について
22	8月7日	令和6年度使用玉野市教科用図書（小学校以外）の採択について
23	8月22日	令和5年度玉野市芸術・文化振興助成金交付団体の選考について
24	9月26日	玉野市立学校徴収金取扱要綱の一部改正について
25	9月26日	玉野市立学校授業料等徴収条例施行規則の一部改正について
26	9月26日	職員の処分について
27	11月14日	令和5年度12月補正予算（教育委員会関係分）について
28	12月5日	令和5年度12月補正予算追加提案（教育委員会関係分）について
29	12月5日	職員の処分について
30	12月26日	玉野市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則
31	12月26日	特殊な勤務に従事する職員の勤務時間等に関する規程の一部改正について
32	2月6日	玉野市立学校に関する条例の一部改正について
33	2月20日	令和6年度当初予算案（教育委員会関係分）について

34	2月20日	令和5年度3月補正予算案（教育委員会関係分）について
35	2月20日	玉野市学校運営協議会に関する規則の一部改正について
36	2月20日	玉野市教育委員会非常勤講師等の勤務条件に関する規則の一部改正について
37	2月20日	玉野市芸術・文化振興助成金交付規程を廃止する規程について
38	3月21日	玉野市教育委員会事務局組織及び事務分掌規則の一部改正について
39	3月21日	玉野市教育委員会会議規則の一部改正について
40	3月21日	玉野市教育委員会公印規則の一部改正について
41	3月21日	学校運営協議会の設置について
42	3月21日	令和6年度学校運営協議会委員の委嘱について

（４）教育委員懇談会

令和5年度共通テーマ：「『たくましく まなんで のびる たまのっ子』を育むために」

回	月 日	テーマ	参加者	人数
1	11月14日	中学校区一貫教育～キャリア教育～について	市立小学校長、キャリア教育担当教諭、講師	9
2	2月 6日	健康教育、学校保健について	市立小中学校長、養護教諭	8

（５）学校等視察

新任校長園長の学校園及び特別の事情のある施設、前年度訪問できなかった施設を中心に、教育委員会が管轄する施設のうち半数程度を視察する。（23/47 施設）

7月11日	日比中学校	荘内幼稚園	田井幼稚園	山田中学校	
9月21日	玉原小学校	玉中学校	玉小学校	築港ちどり保育園	宇野中学校
11月 1日	鉾立小学校	胸上小学校	八浜認定こども園	渋川保育園	児童館
11月14日	東児中学校	山田小学校	宇野保育園	和田保育園	
2月6日	八浜小学校	八浜中学校	宇野幼稚園	玉野備南高校	子育てサポートセンター

（６）その他の活動

月 日	内 容	場 所
4月 6日	玉野市教育功労者感謝状贈呈式	玉野市役所
11月 3日	文化・スポーツ顕彰表彰式＊	中央公民館
〃	文化協会表彰式＊	中央公民館

1月 7日	二十歳の式＊	ダイヤモンド瀬戸内マリンホテル
1月23日	第1回総合教育会議	玉野市役所
7月8・15・22日 12月2・9・16日	子ども楽級視察（13 楽級）	各公民館・小学校
11月27日～ 1月10日	おさらい会視察（6 学級）	各公民館・小学校

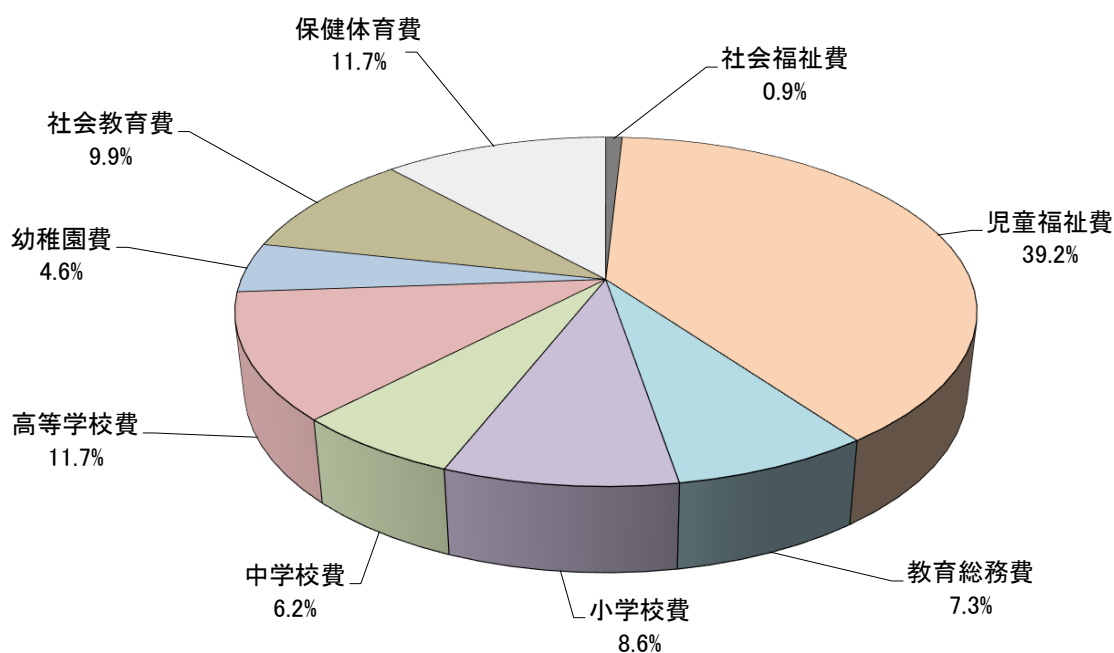
＊教育長のみ出席

令和5年度 教育費・民生費（教育委員会所管分）決算額

（1）令和5年度決算額内訳

項	金額(千円)	前年度比(千円)	伸び率(%)
社会福祉費	36,453	3,315	10.0
児童福祉費	1,669,538	16,431	1.0
教育総務費	311,465	△ 41,878	△ 11.9
小学校費	366,914	△ 15,448	△ 4.0
中学校費	264,675	58,198	28.2
高等学校費	497,108	△ 5,591	△ 1.1
幼稚園費	195,990	△ 17,784	△ 8.3
社会教育費	420,349	26,473	6.7
保健体育費	497,718	△ 1,231,617	△ 71.2
計	4,260,210	△ 1,207,901	△ 22.1

令和5年度決算額構成比

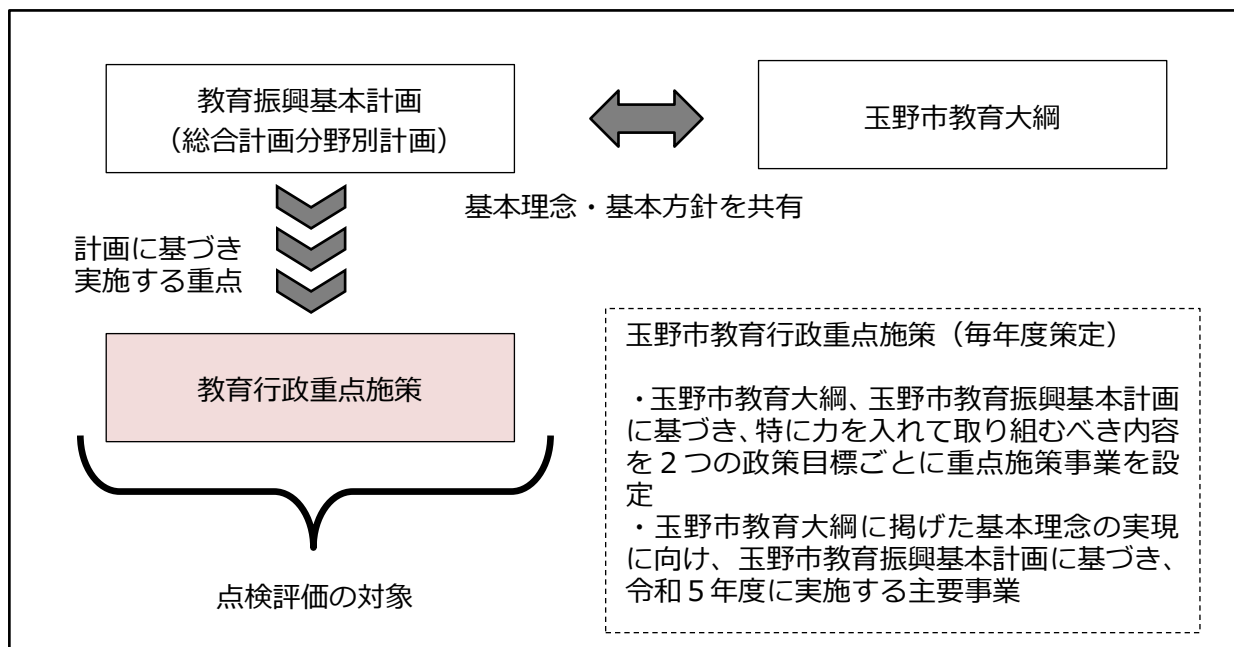


（2）教育費決算額の推移

項	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
社会福祉費	33,032	41,715	31,261	33,138	36,453
児童福祉費	1,531,241	1,533,639	1,614,784	1,653,107	1,669,538
教育総務費	247,508	521,349	335,117	353,343	311,465
小学校費	505,444	689,716	327,943	382,362	366,914
中学校費	190,193	265,428	203,811	206,477	264,675
高等学校費	474,294	512,523	515,551	502,699	497,108
幼稚園費	206,398	200,187	201,921	213,774	195,990
社会教育費	274,307	381,453	388,784	393,876	420,349
保健体育費	322,765	284,775	306,638	1,729,335	497,718
計	3,785,182	4,430,785	3,925,810	5,468,111	4,260,210

令和5年度教育委員会の事務に関する点検評価

(1) 施策体系



(2) 点検評価の実施方法について

① 評価指標の分析

「令和5年度玉野市教育行政重点施策」において掲げた主要事業の評価指標について、令和5年度の状況が現状値と比較し、分析を行う。（総合計画における行政評価システムの事務事業評価シートを活用）

② 評価視点

◆**妥当性**：市が事業に関与する必要があるか、社会環境や住民ニーズ等を考慮して目的は妥当かなど、事務事業を実施することの妥当性を評価

- 1 市が事業へ関与する必要性が薄れている。
- 2 社会情勢の変化など、時の経過とともに事業開始時の目的を見直す必要がある。
- 3 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向が見られる。
- 4 市民ニーズを上回るサービス提供になっているなど、サービスの質や量などを見直す余地がある。
- 5 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。

◆**有効性**：事業の評価指標は達成できそうか、他の事業部等で同じような事務事業は存在しないか、施策目標の達成に貢献しているかなど、事務事業の有効性を評価

- 1 事務事業の成果が、施策の目的や目標の達成に貢献していない。
- 2 国・県・民間が行っている事業と重複している。又は、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある。
- 3 現状のまま事業を継続しても成果の向上が期待できない。

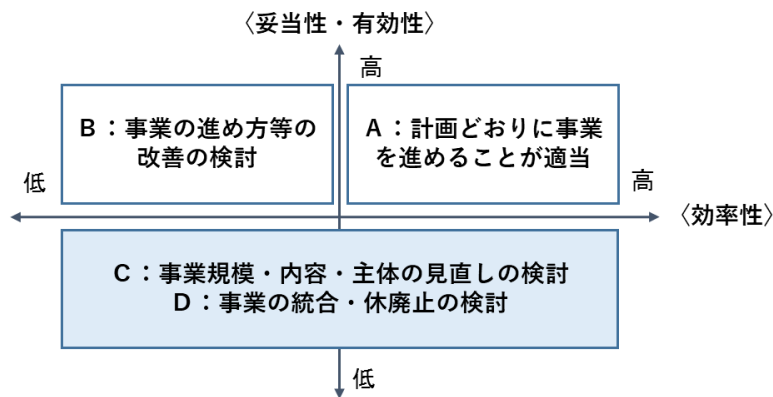
- 4 さらに成果を向上させるには、事務事業の内容の工夫が必要である。
- 5 事務事業の目的・目標を達成しても、成果は十分といえない（成果がはっきりしない）。

◆効率性：実施主体を工夫することでコストを削減できないか、実施手段の適正化等によりコスト削減の余地はないかなど、事務事業の効率性を評価

- 1 民間などの他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である。
- 2 単位あたりの費用が前年度より悪化している。
- 3 デジタル化等の事務改善、契約や人員の見直し等によりコスト削減の余地がある。
- 4 コスト全体に占める市の負担（補助）割合を下げる余地がある。
- 5 事業内容を部分的に廃止又は縮小しても成果の達成が可能である。

③ 総合評価

翌年度の事務事業の進め方として評価する。



④ 今後の方向性

「総合評価」をベースに、「成果の方向性」と「コスト投入の方向性」をそれぞれ選択

今後の方向性を評価する際には、「妥当性」「有効性」「効率性」の3つの視点の評価とも連動させて検討

評価指標の実績値、事中評価を踏まえ、成果と課題の検証を行う。

翌年度の方向性						No.	項目	方向性の視点
成果の方向性	拡充		④	②	①	①	有効性改善	有効性の評価が「低い」
	現状維持		③	⑤		②	生産性改善	有効性の評価が「やや低い」
	縮小		⑥			③	効率性改善	効率性の評価が「やや低い」
	休廃止	⑦				④	協働化改善	有効性・効率性の評価がともに「やや低い」
		皆減	縮小	現状維持	拡大	⑤	現状維持	現状維持（改善が出尽くしている状態）
コスト投入の方向性						⑥	段階的縮小	段階的に撤退
						⑦	廃止・民営化	妥当性・有効性の評価がともに「低い」

⑤ 事後評価（成果と課題の検証）

事業ごとに成果と現状の課題を検証する。

令和5年度 主要事業の点検・評価 事業一覧

施策① 充実した子育て環境の提供

★印の事業は、令和6年度からこどもみらい課へ移管された事業のため、評価はこどもみらい課で実施しています。

【取組内容1】多様な保育サービスの提供

事業名	〈担当所属名〉	評価	ページ
1 子育て支援事業 ★	〈就学前教育課〉	B	14
2 子育て支援センター運営事業【重点施策事業】	〈就学前教育課〉	B	15

【取組内容2】質の高い保育サービスの提供

1 教育支援体制整備事業	〈就学前教育課〉	B	16
--------------	----------	---	----

【取組内容3】健やかな成長を支援する場の提供

1 子育てファミリーサポートセンター運営事業 ★	〈社会教育課〉	A	17
2 児童館管理運営事業【重点施策事業】 ★	〈社会教育課〉	B	18
3 放課後児童クラブ管理運営事業 ★	〈社会教育課〉	A	19
4 幼児クラブ運営補助事業 ★	〈社会教育課〉	B	20

【取組内容4】家庭・地域の教育力の充実

1 少年団運営補助事業	〈社会教育課〉	C	21
2 P T A 連合会運営補助事業	〈社会教育課〉	A	22
3 玉野市少年少女発明クラブ運営補助事業	〈社会教育課〉	B	23
4 二十歳の式事業	〈社会教育課〉	A	24
5 おかやま子ども応援事業	〈社会教育課〉	A	25
6 奨学金貸付事業	〈社会教育課〉	B	26

施策② 教育環境の充実

【取組内容1】教育施設の整備・充実

事業名	〈担当所属名〉	評価	ページ
1 小学校大規模改造事業	〈教育総務課〉	A	27
2 中学校大規模改造事業	〈教育総務課〉	A	28

【取組内容2】教育 I C T 環境の充実

1 G I G A スクール支援事業	〈教育総務課〉	A	29
--------------------	---------	---	----

【取組内容3】小中学校の適正規模化・適正配置の推進

1 玉野市立学校適正規模化計画策定事業【重点施策事業】	〈教育総務課〉	A	30
-----------------------------	---------	---	----

施策③ 学校教育の充実と地域人材の育成

【取組内容 1】確かな学力の向上と夢を育むキャリア教育の充実

事業名	〈担当所属名〉	評価	ページ
1 グローバル人材育成事業【重点施策事業】	〈学校教育課〉	A	31
2 教職員スキルアップ事業	〈学校教育課〉	A	32
3 たまのの魅力再発見・発信事業	〈学校教育課〉	A	33

【取組内容 2】個に応じた個別支援体制の推進

1 支援員配置事業	〈学校教育課〉	A	34
2 小学校長期欠席・不登校対策推進事業	〈学校教育課〉	A	35
3 小1グッドスタート支援事業	〈学校教育課〉	A	36
4 教育サポートセンター管理運営事業	〈教育サポートセンター〉	A	37

【取組内容 3】学校と地域の連携・協働による地域人材の育成

1 たまのの魅力再発見・発信事業（再掲）	〈学校教育課〉	A	33
----------------------	---------	---	----

【取組内容 4】青少年健全育成活動の取組の推進

1 青少年育成センター管理運営事業	〈教育サポートセンター〉	A	38
-------------------	--------------	---	----

【取組内容 5】学校給食の充実と食育の推進

1 給食センター管理運営事業・学校給食会運営補助事業	〈学校教育課〉	A	39
----------------------------	---------	---	----

施設④ 生涯学習活動の推進

【取組内容 1】生涯学習活動の推進

事業名	〈担当所属名〉	評価	ページ
1 講座開催事業	〈社会教育課〉	A	40
2 講座事業	〈社会教育課〉	B	41
3 地域人づくり大学事業	〈社会教育課〉	B	42

【取組内容 2】生涯学習活動環境の改善

1 生涯学習センター管理運営事業	〈社会教育課〉	A	43
2 社会教育施設管理運営事業	〈社会教育課〉	A	44
3 公民館管理運営事業	〈社会教育課〉	A	45
4 公民館整備事業	〈社会教育課〉	A	46
5 図書館管理運営事業	〈社会教育課〉	A	47

【取組内容 3】部活動の地域移行

1 部活動地域移行検討事業【重点施策事業】	〈社会教育課〉	A	48
-----------------------	---------	---	----

施設⑤ 芸術・文化活動の推進

【取組内容 1】芸術・文化活動の推進

事業名	〈担当所属名〉	評価	ページ
1 文化協会運営補助事業	〈社会教育課〉	A	49
2 市民コンサート事業	〈社会教育課〉	B	50
3 芸術文化振興事業	〈社会教育課〉	B	51
4 文化・スポーツ顕彰事業	〈社会教育課〉	A	52
5 トップアスリート・トップアーティスト招聘事業	〈社会教育課〉	B	53

【取組内容 2】文化財の保護・保存

1 文化財保護事業	〈社会教育課〉	B	54
2 町並み保存拠点施設管理事業	〈社会教育課〉	C	55

施設⑥ スポーツ活動の推進

【取組内容 1】スポーツ活動の推進

事業名	〈担当所属名〉	評価	ページ
1 文化・スポーツ顕彰事業（再掲）	〈社会教育課〉	A	52
2 トップアスリート・トップアーティスト招聘事業（再掲）	〈社会教育課〉	B	53
3 社会体育事業関係事務	〈社会教育課〉	A	56
4 玉野市スポーツ協会運営補助事業	〈社会教育課〉	A	57
5 玉野スポーツセンター運営補助事業	〈社会教育課〉	A	58
6 体育施設管理運営事業	〈社会教育課〉	A	59

【取組内容 2】スポーツ施設の整備充実

1 体育施設管理運営事業（再掲）	〈社会教育課〉	A	59
------------------	---------	---	----

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		子育て支援事業					担当課		こどもみらい課			
目的	対象	子育て世代の市民										
	意図	子育てに関する各種支援サービスをお知らせし、有効活用してもらう。					政策体系		1-2			
手段	・「たまの子育てガイド」を毎年更新し、子育て世帯を中心に頒布する。（普遍性の高い情報） ・「たまの子育てアプリ」の機能を活用して、リアルタイムの子育て情報を配信する。（直近のピンポイント情報）					新規／継続		継続				
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8					
	「たまの子育てガイド」の増刷・希望者へ配付		「たまの子育てガイド」の増刷・希望者へ配付									
	「たまの子育てアプリ」の利用促進の取組		「たまの子育てアプリ」の利用促進の取組									
事業費 ・財源	総事業費（千円）		957	総事業費（千円）		960	総事業費（千円）			総事業費（千円）		
	印刷製本費		297	印刷製本費		300						
	子育て支援アプリ業務委託料		660	子育て支援アプリ業務委託料		660						
	特定	797	一般	160	特定	800	一般	160	特定		一般	

○評価指標

評価指標(単位)		「たまの子育てアプリ」の利用者登録数（人）					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R 4)	579.0					中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)		652					実績値(事後評価)						
目標値	543	650	750	850	950		目標値						

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	④ 拡充
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	2	やや低い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		評価指標の「たまの子育てアプリ」の利用登録者数は目標を達成する見込みである。しかしながら利用頻度においては、1日あたり約7人程度に留まっており、R5年度の利用率は約1.27%と低い状況となっている。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		「たまの子育てアプリ」は子どもの出産予定日、生年月日などの情報が登録できる。年齢児を限定した「個別のお知らせ」機能の活用や、配信内容に沿った通知方法の精査をし、それぞれの利用者にとって必要な子育て情報を適切なタイミングで発信していくことで、利用率の向上を目指す。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	「たまの子育てガイド」については、子どもの年齢や親の悩みに応じて見やすいレイアウトの見直しを行った。 「たまの子育てアプリ」については、妊娠届け出時の妊婦面接等さまざまな機会を捉え、アプリの登録を促した。					
成果	「たまの子育てアプリ」の登録者数については目標値を達成することはできたが、R5年度の1日あたりの利用者数は約8人程度・利用率1.30%となっており、発信する情報が利用者のニーズに応えられていなかった。					
課題	利用者のニーズに沿った子育てに必要な情報を総合的に取りまとめ、アプリを通じて情報発信ができる体制の構築が必要である。（利用者の求める情報がこどもみらい課の把握している情報のみでは対応が困難なため、横断的に情報発信できる体制を構築する必要がある。）					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		子育て支援センター運営事業						担当課		就学前教育課				
目的	対象	子育て世代の市民								政策体系		1-2		
	意図	子育てについての総合的なフォローを行う。												
手段	一時保育、子育て相談、園庭開放、イベント開催、子育て情報発信などを行う。								新規／継続		継続			
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8				
	各種イベントの再開並びに内容の見直し			子育て世帯同士の交流促進の拡大										
事業費 ・財源	総事業費（千円）		869	総事業費（千円）		542	総事業費（千円）			総事業費（千円）				
	報償金		20	報償金		30								
	消耗品費		219	消耗品費		250								
	食料費		5	食料費		20								
	賠償責任保険料		22	賠償責任保険料		70								
	ネットワーク整備委託料		550	機械器具借上料		72								
	機械器具借上料		8	機械器具費①		100								
	機械器具費①		47											
	特定		一般	869	特定		一般	542	特定		一般		特定	

○評価指標

評価指標(単位)		園庭開放利用者（子育て支援センター実施分）（組数）					評価指標(単位)		特別イベント及び大規模イベントの開催数（延べ回数）				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R1)	291					中間値(事中評価)	(R1)	1				
実績値(事後評価)		1,002					実績値(事後評価)		6				
目標値	2,150	2,000	2,500	2,750	3,000		目標値	4	4	5	6	7	

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	④ 拡充
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	2	やや低い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等			コロナ禍で事業を停止していたが、令和5年度からは本格的に再開している。園庭解放利用者数は回復傾向にあるものの、コロナ禍前の状況と7月末段階（中間値）で比較すると、例年の4割程度の利用となっている。				
新年度の要求事項（改革・改善案）			広報紙、市HP、SNS、子育てアプリなど多様な媒体を活用して情報発信を行うとともに、参加者へのWebアンケートを実施することで、より参加しやすい環境整備の方法について分析し、手法を再検討した上で、利用者数の回復を図る。				

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	令和6年度からこどもみらい課と連携して育児相談・離乳食教室、及びセカンドブック事業を行うにあたり、福祉政策課の保健師と12月より、打合せを5回程度行った。また、令和5年度から、イベント行事の周知に母子モのアプリを活用し、子育て世帯に広く周知を図った。ショッピングセンターメルカの玉野市PRワゴンを活用し、機関誌やイベントチラシを設置して積極的なPR活動を行った。また、イベントを行った後には、利用者にアンケートを行い、その内容も踏まえて、他の支援センターと合同で反省と今後の改善点を話し合った。利用者支援事業とも連携をとって子育て支援の充実を図った。					
成果	子育て世帯を支える施策としては非常に有効である。地域子育て支援センター業務に関しては、役割は一層重要視されており、体制を強化し、支援センター同士の連携や、内容の充実を図るべきで評価は妥当と考える。					
課題	地域子育て支援センターが保育園等を活用して行っている特長を生かし、身近な相談先として子育て世帯と継続的につながるため、現在の手段をより充実させ、新たな手段も探求していく必要がある。私立保育園も含め、事業を安定的かつ継続的に運用できる手法を、既存の補助金を有効活用して再構築すべきである。また、子育て家庭との接点や状況把握のための整備体制をより一層整えていくため、今後設置されるこども家庭センターと連携は必須であり、さらなる内容の充実に向け、協力した取組が必要である。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		教育支援体制整備事業							担当課		就学前教育課	
目的	対象	市職員（就学前教育職員）										
	意図	若手を中心に、就学前教育職員の質向上を図る。							政策体系		1-2	
手段	就学前教育アドバイザー（保育業務に習熟した指導的立場にある職員）による園訪問指導や、園小連携の取組を実施。							新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7			R8				
	就学前教育アドバイザーへの研修等の機会提供		就学前教育アドバイザーへの研修等の機会提供									
	就学前教育アドバイザーによる全園指導訪問		就学前教育アドバイザーによる全園指導訪問									
	園小連携協議会の実施		園小連携協議会の実施									
	園小接続カリキュラムの実践の検証		園小接続カリキュラムの実践の検証									
	園保育と小学校授業の参観（双方の職員による）		園保育と小学校授業の参観（双方の職員による）									
	保健師、心理職等の専門職との連携強化		保健師、心理職等の専門職との連携強化									
事業費 ・財源	総事業費（千円）		3,327		総事業費（千円）		4,005		総事業費（千円）			
	報償金		35		報償金		58					
	旅費		1,233		旅費		1,327					
	消耗品費		1,959		消耗品費		2,406					
	印刷製本費		0		印刷製本費		59					
	郵便料		0		郵便料		14					
	その他		102		その他		141					
	特定	3,327	一般	0	特定	2,002	一般	2,003	特定		一般	

○評価指標

評価指標(単位)		園訪問指導の回数（延べ回数）					評価指標(単位)		若手職員への指導回数（延べ回数）				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R4)	14					中間値(事中評価)	(R4)	5				
実績値(事後評価)		115					実績値(事後評価)		31				
目標値	50	50	50	50	50		目標値	35	35	35	35	35	

評価指標(単位)		園小連携協議会の開催（延べ回数）					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R4)	2					中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)		2					実績値(事後評価)						
目標値	2	3	3	4	4		目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	2	やや低い					

前年度の課題等に対する取組状況	
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等	・この事業は、文部科学省の交付金を活用した事業であるところ、同省の予算の都合上、今年度は交付決定額が減額されたため、事業に必要な物品の購入等で一部制約が生じている。 ・主に若手職員の指導を担っていた就学前教育アドバイザー1名が前年度末で退職したが、その補充が行えていないことにより、この取組の一部で支障が生じている。
新年度の要求事項（改革・改善案）	事業開始から5年目に入り、職員の質向上を中心とした成果を挙げている一方、計画目標の達成に向けた取組を進めるにあたって、担当職員の業務負担が過多となりがちであり、本来目指すべき成果が得られないケースが生じている。この点を踏まえ、当面は現状維持を前提としつつも、業務負担の改善を図る必要性が認められることから、今後の人員体制や機構改革の動きによっては、事業の縮小化も念頭に置いた上で、より効果的・効率的な進め方を検討する必要がある。

○事後評価

区分	年間（4月～3月）	
取組内容	・公私立幼保小17園への園訪問を実施し、指導参考資料の整備や就学前教育アドバイザー等による指導訪問・実践保育指導を行った。 ・講師招聘による就学前教育職員対象の研修会を開催するとともに、先進地視察や全国規模の研修会等に参加した。 ・小学校1年生担任と園長担任で相互に訪問を実施し、カリキュラムの打合せ・協議を行った。（園小連携の取組）	
成果	・訪問指導を受けることを通じ、全園職員の意識改革や、他園職員も参加することで、保育のレベルアップが図られている。 ・各種研修会や多様な幼児教育、保育を実践する施設の訪問・視察を通じて、スキルアップと意識啓発が促進できた。 ・園小連携の取組により、それぞれの担当者同士が直接協議する機会が生まれ、相互理解の進展と具体的な調整ができていく。	
課題	各種取組を深化させ、より成果を得られるよう事業を展開しているが、文部科学省の交付金の獲得を企図する自治体が年々増えているところ、交付金の申請・協議において他市と比較した場合、引き続き本市の事業が採択されとは限らない状況にある。今後も交付金を活用するためには、独自性の高い取組を始めるなどのアピールが必要となるが、そのためのマンパワーが不足している。	

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		子育てファミリーサポートセンター運営事業						担当課		こどもみらい課	
目的	対象	市民（子育て世帯）						政策体系		1－2	
	意図	急な用事等で一時的に育児ができない世帯等を支援する。									
手段	子育ての援助をしたい人（提供会員）と、子育ての援助を依頼したい人（依頼会員）を会員として、会員間での育児の援助活動を行う。						新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8				
	提供会員・依頼会員の募集		提供会員・依頼会員の募集								
	会員の送迎・預かりの調整		会員の送迎・預かりの調整								
事業費 ・財源	総事業費（千円）		9,128	総事業費（千円）		9,128	総事業費（千円）			総事業費（千円）	
	委託料		9,128	委託料		9,128					
	特定	1,866	一般	7,262	特定	1,866	一般	7,262	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)		提供会員数					評価指標(単位)		依頼会員数				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	112					中間値(事中評価)	(R3)	299				
実績値(事後評価)		112					実績値(事後評価)		281				
目標値	110	140	145	150	155		目標値	307	350	355	360	365	

評価指標(単位)		両方会員数					評価指標(単位)		利用件数				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	12					中間値(事中評価)	(R3)	253				
実績値(事後評価)		14					実績値(事後評価)		634				
目標値	20	20	20	20	20		目標値	1,142	1,200	1,250	1,300	1,350	

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	3	やや高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		提供会員の不足が課題である。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		提供会員の募集を強化するよう委託事業者へ指導する。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）											
取組内容	事務局職員がアドバイザーとして会員同士のマッチングを行い、会員相互の子育て支援活動をサポートした。											
成果	サービスの利用数や全体の会員数は前年度に比べて減少しているものの、交流会、PRイベント、募集チラシや広報紙等の配布を通じて事業のPR活動を活発に行ったことで、不足している提供会員数については微増した。											
課題	実際に稼働できる提供会員が少なく、依頼を受ける時間帯が重複することや、提供会員の不足及び高齢化が課題である。今後、アンケート調査の実施等により会員のニーズを把握し、利用しやすい仕組み作りを目指す予定である。											

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		児童館管理運営事業							担当課		こどもみらい課			
目的	対象	児童・保護者									政策体系		1－2	
	意図	子どもたちが自由に遊べ、心身ともに健やかに成長できるようサポートする。												
手段	乳幼児や小学生を中心とした遊びの場を設けるとともに、ふれあい遊びや児童向け行事を企画する。									新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8				
	児童館の開館			児童館の開館										
	館内イベントの開催			館内イベントの開催										
	巡回児童館の開催			巡回児童館の開催										
事業費 ・財源	総事業費（千円）		8,405	総事業費（千円）		8,377	総事業費（千円）			総事業費（千円）				
	委託料		8,377	委託料		8,377								
	償還金		28											
	特定		2,194	一般	6,211	特定	2,128	一般	6,249	特定		一般		

○評価指標

評価指標(単位)		児童館来館者数					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	2,906					中間値(事中評価)	(R3)					
実績値(事後評価)		8,202					実績値(事後評価)						
目標値	4,229	5,000	5,500	5,700	5,800		目標値						

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討	今後の方向性	
妥当性	3	やや高い				成果	④ 拡充
有効性	3	やや高い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等			新型コロナウイルス感染症の影響で、巡回児童館の開催回数が増えていない。				
新年度の要求事項（改革・改善案）			巡回児童館の実施方法や周知方法など改善するよう、指定管理者に指導する。 利用者のニーズを反映できるよう、指定管理者に指導する。				

○事後評価

区分	年間（4月～3月）											
取組内容	玉野市社会福祉協議会を指定管理者に指定（期間R3～7）し、工作や絵本の読み聞かせ、卓球クラブ等、年間を通じて様々な年齢の児童が楽しめるイベントやクラブ活動を開催した。また小学生や中・高生のボランティア育成にも努めた。											
成果	親子のふれあいや子ども同士が交流できる場を提供し、地域の児童を健全に育成する拠点としての役割を担った。令和5年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止していた行事の一部を再開し、また新たなイベントの試みやPR活動の活発化によって施設利用者の増加に繋がった。											
課題	コロナ前の来館者数にまでは戻っておらず、休止中の行事の再開が望まれる。施設をより充実させて利用者の満足度を高めるために、課題の洗い出しを行い、限られた予算で創意工夫を図る必要がある。											

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名			放課後児童クラブ管理運営事業							担当課		こどもみらい課			
目的	対象		就労等により保護者が昼間家庭にいない市民									政策体系		1 - 2	
	意図		子育てを支援する。												
手段	各小学校にクラブを設置し、小学校の放課後や長期休暇期間に小学生児童を預かる。									新規／継続		継続			
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8					
	放課後児童クラブの管理運営			放課後児童クラブの管理運営											
事業費 ・財源	総事業費（千円）		141,308	総事業費（千円）		141,025	総事業費（千円）				総事業費（千円）				
	保険料		23	保険料		25									
	委託料		141,000	委託料		141,000									
	償還金		285												
	特定		118,087	一般	23,222	特定	108,906	一般	32,119	特定		一般		特定	

○評価指標

評価指標(単位)		待機児童数					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	0.0					中間値(事中評価)	(R3)					
実績値(事後評価)		0.0					実績値(事後評価)						
目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		目標値						

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		利用者数が増えたことにより、スペースが手狭になっている。県内他市へ事業の実施方法や利用希望者の受入れ状況、受け入れ基準の有無等の調査を行っている。また利用実績や利用率の分析を行い、今後の利用者数の推移を予測する等、施設整備の検討を進めている。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		学校再編等の将来像を考慮しつつ、利用希望児童の受入れ体制を整える。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）										
取組内容	前年と同様、玉野市社会福祉協議会に全クラブの運営を委託し、市内18クラブで平日の放課後及び土曜日（※）に児童の預かりを実施した。※玉原と荘内2・3を除く13クラブについては第1土曜日のみ。										
成果	子どもの主体的な遊び・家庭学習・生活について、年間を通じて継続的に支援を行い、児童の健全育成を図った。共働き家庭の増加による利用ニーズの高まりに応じて柔軟に受入れを行っている。										
課題	利用児童の増加により十分な預かりスペースが確保できておらず、支援員も不足している。学校再編も踏まえたクラブの再編の検討等が必要である。ICTによる事業の効率化、利用者ニーズの反映など事業の質向上を目指す必要もある。										

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		幼児クラブ運営補助事業						担当課		こどもみらい課	
目的	対象	就学前の子どもがいる市民とその子ども						政策体系		1 - 2	
	意図	同じ地区で同じ年頃の友達と一緒に遊んだり、保護者同士が子育ての悩みや喜びを共有する。									
手段	当課が幼児クラブ活動の窓口となり、活動の補助や支援を行う。						新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8				
	幼児クラブ運営補助		幼児クラブ運営補助								
	合同研修の開催		合同研修の開催								
事業費 ・財源	総事業費（千円）		132	総事業費（千円）		132	総事業費（千円）			総事業費（千円）	
	負担金補助及び交付金		132	負担金補助及び交付金		132					
	特定		一般	132	特定		一般	132	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)		幼児クラブ登録者数（子ども）					評価指標(単位)		合同研修の開催回数				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	30					中間値(事中評価)	(R3)	1				
実績値(事後評価)		39					実績値(事後評価)		3				
目標値	40	40	40	40	40		目標値	0	1	1	1	1	

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討	今後の方向性	
妥当性	2	やや低い				成果	③ 現状維持
有効性	3	やや高い				コスト	③ 現状維持
効率性	2	やや低い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		クラブ会員からの子育て等の相談について、専門的な相談等を受けられない。 地区によっては、会員数の減少により活動休止中のクラブあり。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		子育て支援に特化した課へ移管。保健師など専門職が担当することにより、子育て中の保護者からの相談を専門家の目線で回答できる。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	合同研修会を7月・11月・2月と3回開催し、各幼児クラブや親子での交流を深めた。					
成果	活動を再開したクラブもあり、幼児クラブ全体では人数が増加している。 合同研修会について、参加者はおおむね満足の評価を得られているが、子育て等の相談対応や各幼児クラブの自主活動促進については、あまり進められていない。					
課題	地区によって人数が少ないエリアもあり、自主的な活動をするために市内幼児クラブの連携が必要である。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		少年団体運営補助事業						担当課		社会教育課	
目的	対象	子ども会・ボーイスカウトに関わる市民									
	意図	市内少年団体の育成と指導の中心的役割を果たし、子ども会・ボーイスカウトの自主的な活動を振興する。						政策体系		1 - 2	
手段	子ども会、夏休み体験学習・リーダー研修会・県内他市子ども会との交流等のため補助金を交付する						新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8				
	補助金の交付		補助金の交付								
	子ども会運営補助										
事業費 ・財源	総事業費（千円）		84	総事業費（千円）		51	総事業費（千円）			総事業費（千円）	
	補助金		84	補助金		51					
	特定	0	一般	84	特定		一般	51	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)		子ども会研修会開催回数					評価指標(単位)		会員数（幼～高※育成者を除く）				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	1					中間値(事中評価)	(R3)	13				
実績値(事後評価)		1					実績値(事後評価)		13				
目標値	0	1					目標値	16	13				

評価指標(単位)		単位子ども会数					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	1					中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)		1					実績値(事後評価)						
目標値	1	1					目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	C	事業の規模・内容・主体の見直しを検討	今後の方向性	
妥当性	1	低い				成果	② 縮小
有効性	1	低い				コスト	② 縮小
効率性	1	低い					
前年度の課題等に対する取組状況		—					
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		子ども会連絡協議会の加盟団体が1団体のみ、新たな加入団体も見込めない。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		子ども会連絡協議会及び団体への補助金（66千円）の廃止。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）		
取組内容	【子ども会】7月26日に体験教室を開催した。また、会長と事務局とで、今後の子ども会のあり方について複数回協議を実施した。 【ボーイスカウト】年間を通じて募金や地域清掃などの社会奉仕活動を実施した。また、12月3日に発足70周年記念式典を開催した。		
成果	【子ども会】体験教室には会員16名（内訳：子ども9名、育成者7名）の参加があった。 【ボーイスカウト】発足70周年記念誌を発刊した。		
課題	【子ども会】令和6年度で、単位子ども会が1団体となって5年が経つが、会員数は年々減少し、新たな加入団体も見込めない。 協議についてはいずれも話がまとまらずに終わっており、会長（役員）と事務局とで共通した認識が持てていない。		

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		P T A 運営補助事業						担当課		社会教育課				
目的	対象	P T A								政策体系		1 - 2		
	意図	PTA活動の支援												
手段	P T A 連合会の事務局となり、補助金の支給や活動支援を行う。								新規／継続		継続			
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8				
	各種イベントの実施			各種イベントの実施										
	情報交換の場の提供			情報交換の場の提供										
	学習機会の提供			学習機会の提供										
	各単位 P T A の活動支援			各単位 P T A の活動支援										
事業費 ・財源	総事業費（千円）		115	総事業費（千円）		115	総事業費（千円）			総事業費（千円）				
	補助金		115	補助金		115								
特定		一般	115	特定		一般	115	特定		一般		特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)		情報交換の場の提供回数					評価指標(単位)		各種イベントの実施回数				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	2					中間値(事中評価)	(R3)	—				
実績値(事後評価)		4					実績値(事後評価)		2				
目標値	4	4	4	4	4		目標値	2	2	2	2	2	

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況		—					
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		特になし					
新年度の要求事項（改革・改善案）		特になし					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）												
取組内容	情報交換の場の提供として、補導部会研修会（6/30）、会長会議（7/7、11/24、3/1）を開催した。また、文化事業を11/3に、体育事業を11/12に開催した。												
成果	会長会議では、各単位 P T A における課題について、複数の単位 P T A 同士で協議することができた。文化事業では、メルカセントラルコートに設置した観客席が満席となった。体育事業では、61名が深山公園でのウォークラリーに参加した。												
課題	いくつかの単位 P T A において、全会員ではなくなってきている。（例：児童数＝会員数）情報交換の場の提供は確保しつつも、玉野市 P T A 連合会の在り方を見直していく時期であると考え。また、こうした状況を踏まえ、補助金についても再考する必要がある。												

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		玉野市少年少女発明クラブ運営補助事業						担当課		社会教育課	
目的	対象	市民									
	意図	少年少女に科学的な興味と関心を追求できる場所を提供し、創作活動を通じて発想力のある児童を育成する。						政策体系		1 - 2	
手段	少年少女に科学的な興味と関心を追求できる機会を提供する団体に対し、補助金を交付する。						新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8				
	補助金の交付		補助金の交付								
	少年少女発明クラブ運営		少年少女発明クラブ運営								
事業費 ・財源	総事業費（千円）		250	総事業費（千円）		250	総事業費（千円）				
	補助金		250	補助金		250					
	特定		一般	250	特定		一般	250	特定		一般

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		二十歳の式事業					担当課		社会教育課		
目的	対象	当該年度に二十歳となる人									
	意図	二十歳を迎えた人を祝い、社会人としての自覚を促す。					政策体系		1 - 2		
手段	毎年、成人の日前日の日曜日に実行委員会が中心となって式典を行う。					新規／継続		継続			
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8				
	二十歳の式の実施		二十歳の式の実施								
事業費 ・財源	総事業費（千円）		1,572	総事業費（千円）		2,052	総事業費（千円）				
	報償金		20	報償金		20					
	賞賜金		305	賞賜金		572					
	消耗品費		43	消耗品費		80					
	食糧費		5	食糧費		10					
	委託料		520	委託料		570					
	借上料		682	借上料		800					
	特定	0	一般	1,572	特定	0	一般	2,052	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)					中間値(事中評価)	(R3)				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)					中間値(事中評価)	()				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況		—					
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		特になし					
新年度の要求事項（改革・改善案）		特になし					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）				
取組内容	二十歳の式実行委員会（年6回）と二十歳の式（本番）を開催した。				
成果	対象者のうち、約7割の参加があった。式の内容や来賓、席の配置などがコロナ禍以前の形に戻りつつある。				
課題	特になし				

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		おかやま子ども応援事業						担当課		社会教育課	
目的	対象	地域住民・子ども（学校）						政策体系		1－2	
	意図	「学校を核とした地域づくり」「地域ともにある学校づくり」を実現する									
手段	学校と地域住民が目標やビジョンを共有し、一体となってコミュニティスクールや地域学校協働活動を推進する。						新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8				
	地域学校協働本部運営		地域学校協働本部運営								
	子ども楽級開催		子ども楽級開催								
	家庭教育講座開催		家庭教育講座開催								
事業費 ・財源	総事業費（千円）		7,992	総事業費（千円）		8,195	総事業費（千円）			総事業費（千円）	
	報償金		5,799	報償金		6,086					
	消耗品費		1,976	消耗品費		1,720					
	食糧費		37	食糧費		66					
	郵便料		37	郵便料		100					
	保険料		89	保険料		146					
	その他		54	その他		77					
	特定	5,280	一般	2,712	特定	5,464	一般	2,731	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位) 子ども楽級登録者数						評価指標(単位) 家庭教育講座実施数					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)	426				中間値(事中評価)	(R3)	2			
実績値(事後評価)		451				実績値(事後評価)		31			
目標値	365	550	550	550	550	目標値	1	10	10	11	11

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)					中間値(事中評価)	()				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況			—				
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等			地域学校協働本部事業の国、県からの補助金が減額傾向にある。さらに、消耗品費の使い途の制限が厳しくなっている。そのために今後、報償費と消耗品費の内訳を各本部に再考してもらう必要がある。				
新年度の要求事項（改革・改善案）			国の方針として、地域学校協働活動推進員を複数人体制にすること、学校へ常駐化することが示されている。それを実現するためには、本事業の予算は、最低でも現状維持が必要条件である。				

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	子ども楽級・おさらい会では、14小学校で、計1,030回（図書開放を含む）地域学校協働本部事業では、延べ22,459人の地域住民が参画。家庭教育支援事業では、計31回の子育て・親育ち講座を開催。					
成果	子ども楽級、おさらい会、協働本部については、コーディネーター、代表アドバイザー、推進員を中心に各活動を進めていくことができた。また、家庭教育については、玉野市家庭教育支援チームを立ち上げ、親育ち応援学習プログラムの計画的実施を行うことができるようになってきた。					
課題	現在、子ども楽級は、公民館の自主講座として開催しており、地域学校協働本部事業は、各校園に協働本部を配置している。そのため、玉野市学校適正規模・適正配置計画を受けて、本事業の実施体制を再構築していく必要がある。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		奨学金貸付事業						担当課		社会教育課		
目的	対象	市民										
	意図	将来社会に貢献しうる有為な人材を育成する。								政策体系		1 - 2
手段	学校教育法に基づく高等学校、高等専門学校、大学、市内の専修学校、に在学する者に奨学金を貸し付ける。								新規／継続		継続	
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8		
	奨学金貸付			奨学金貸付								
事業費 ・財源	総事業費（千円）		9,360	総事業費（千円）		9,240	総事業費（千円）			総事業費（千円）		
	奨学金貸付		9,360	奨学金貸付		9,240						
	特定	9,360	一般	0	特定	13,677	一般	-4,437	特定		一般	

○評価指標

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)					中間値(事中評価)	(R3)				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)					中間値(事中評価)	()				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事中評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討	今後の方向性	
妥当性	3	やや高い				成果	③ 現状維持
有効性	3	やや高い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況			—				
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等			滞納者で連絡の取れない者がおり、対応に苦慮している。				
新年度の要求事項（改革・改善案）			私債権回収のマニュアルは、市全体で作成する予定。				

○事後評価

区分	年間（4月～3月）				
取組内容	定例業務は一部マニュアル化し、事務処理に漏れがないか確認できるように図った。滞納者には督促文書を送付し納付を呼びかけた。また、募集要項に選考基準を明記し、基準に沿った採用ができるように図った。				
成果	マニュアル化により事務処理の流れが明確になった。こまめな督促文書の送付により、滞納が継続するのを防ぐことができた。選考基準を明確にしたことにより、本事業の目的に沿った奨学生の採用に繋げることができた。				
課題	滞納者への対応の加減が担当者により変わることがあるので、市全体で作成される予定の債権管理マニュアルを基にした奨学金貸付事業としての対応マニュアル・方針を策定する必要がある。また、奨学金返還支援制度について検討する。				

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		小学校大規模改造事業										担当課		教育総務課		
目的	対象	児童・生徒										政策体系		2-4		
	意図	快適な学習環境の構築														
手段	学校施設に対して地域の状況や将来像を勘案した計画的な改修及び整備										新規／継続		継続			
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8						
	改修及び整備の実施			改修及び整備の実施												
	改修及び整備計画の立案			改修及び整備計画の立案												
事業費 ・財源	総事業費（千円）		69,749		総事業費（千円）		86,278		総事業費（千円）				総事業費（千円）			
	小学校大規模改造工事請負費		67,329		小学校大規模改造工事請負費		81,372									
	実施設計委託料		2,420		実施設計委託料		4,906									
	特定	53,283	一般	16,465	特定	77,548	一般	8,730	特定		一般		特定		一般	

○評価指標

評価指標(単位)		施設改修・整備を実施した小学校数（校）					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8		
中間値(事中評価)	(R4)	3				中間値(事中評価)	()						
実績値(事後評価)		3				実績値(事後評価)							
目標値	2	3	3	2	2	目標値							

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8		
中間値(事中評価)	()					中間値(事中評価)	()						
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)							
目標値						目標値							

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	3	やや高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		現在のところ、空調設備の更新やトイレ改修においては、年次計画に沿って進めている。今後、学校適正規模化による施設の統廃合の議論が進んだ際には、その状況に応じた年次計画の見直しを行い、施設整備を進めていく必要がある。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		総合計画において空調設備設置率やトイレの洋式化率について目標値を定めているが、交付金を活用するには、1校の整備につき一定の下限額が設定されていることから、投資する学校を絞り込む等、検討する必要がある。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	トイレ改修1校および空調改修2校実施。					
成果	計画どおり実施完了。					
課題	統廃合の計画を考慮し、改修及び整備計画の見直しが求められる。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		中学校大規模改造事業						担当課		教育総務課			
目的	対象	生徒								政策体系		2-4	
	意図	快適な学習環境の構築											
手段	学校施設に対して地域の状況や将来像を勘案した計画的な改修及び整備								新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8			
	改修及び整備の実施			改修及び整備の実施									
	改修及び整備計画の立案			改修及び整備計画の立案									
事業費 ・財源	総事業費（千円）		104,445	総事業費（千円）		0	総事業費（千円）			総事業費（千円）			
	中学校大規模改造工事請負費		104,445	中学校大規模改造工事請負費		0							
				実施設計委託料		0							
特定		93,777	一般	10,668	特定	0	一般	0	特定		一般		

○評価指標

評価指標(単位)		施設改修・整備を実施した中学校数					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R4)	2					中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)		2					実績値(事後評価)						
目標値	6	2	3	3	4		目標値						

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	3	やや高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		現在のところ、空調設備の更新やトイレ改修においては、年次計画に沿って進めている。今後、学校適正規模化による施設の統廃合の議論が進んだ際には、その状況に応じた年次計画の見直しを行い、施設整備を進めていく必要がある。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		総合計画において空調設備設置率やトイレの洋式化率について目標値を定めているが、交付金を活用するには、1校の整備につき一定の下限額が設定されていることから、投資する学校を絞り込む等、検討する必要がある。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	トイレ改修2校実施。					
成果	計画どおり実施完了。					
課題	統廃合の計画を考慮し、改修及び整備計画の見直しが求められる。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		GIGAスクール支援事業						担当課		教育総務課	
目的	対象	小中学校（児童・生徒、教職員）									
	意図	教育ICT環境の充実を図り、個別最適化された学びや創造性を育む学びを推進する。						政策体系		2-4	
手段	ICT機器の活用を進めるための支援の実施						新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8				
	ICT支援員の配置		ICT支援員の配置								
	GIGAスクールヘルプデスクの設置		GIGAスクールヘルプデスクの設置								
	情報教育担当者の開催		情報教育担当者の開催								
事業費 ・財源	総事業費（千円）		5,782	総事業費（千円）		5,280	総事業費（千円）			総事業費（千円）	
	ICT支援員委託料		4,515	ICT支援員委託料		924					
	GIGAスクールヘルプデスクの設置委託料		1,268	GIGAスクールヘルプデスクの設置委託料		4,356					
特定		633	一般	5,149	特定	1,452	一般	3,828	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)		ICT支援員配置回数					評価指標(単位)		情報教育担当者の開催回数				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R4)	88					中間値(事中評価)	(R4)	1				
実績値(事後評価)		252					実績値(事後評価)		2				
目標値	252	252	252	252	252		目標値	2	3	3	3	3	

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	3	やや高い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		ICT支援員について、月1回3時間の訪問となっているが、必要なときに来てもらうことができないため学校のニーズに合っていない部分がある。また、ICT支援員でも対応できない機器のトラブルが発生している。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		ICT支援員について、電話やメール等で常時サポートを可能とする体制の構築など、より効果的な活用手法について検討を進めていく。また、トラブルの多いNASについてはクラウドによる一括管理を検討する。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	ICT支援員について、各校月1回3時間訪問した。アカウント年度更新作業や学習用端末破損・故障に伴い更新した端末のエンロールメント作業、ICT支援員及び教育委員会事務局の支援について、GIGAスクールヘルプデスクに委託した。情報教育担当者については、目標3回開催のところ2回となっているが、校長会や他の研修にGIGA関連を組み込み実施した。					
成果	ICT支援員が訪問することで、学校の学習用端末の活用の推進に寄与した。GIGAスクールヘルプデスクを設置することで、本来なら教育委員会事務局や学校において実施する作業の負担軽減が図られた。					
課題	ICT支援員について、月1回3時間の訪問となっているが、必要なときに来てもらうことができないため学校のニーズに合っていない部分がある。また、ICT支援員でも対応できない機器のトラブルが発生している。→6年度予算に反映					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		玉野市立学校適正規模化計画策定事業						担当課		教育総務課	
目的	対象	小中学校						政策体系		2-4	
	意図	玉野市立学校適正規模・適正配置計画の策定									
手段	玉野市立学校適正規模・適正配置検討委員会を設置し、小中学校の適正規模・適正配置について諮問・答申 地域説明会の開催、アンケートの実施						新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8				
	適正規模・適正配置検討委員会会議の開催		適正規模・適正配置計画の策定								
	適正規模・適正配置検討委員会答申		適正規模・適正配置計画公表								
事業費 ・財源	総事業費（千円）		452	総事業費（千円）		0	総事業費（千円）			総事業費（千円）	
	報償金		394								
	旅費		37								
	食糧費		8								
	会場借上料		14								
	特定	0	一般	452	特定	0	一般	0	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)		検討委員会会議の開催回数					評価指標(単位)		地域説明会参加者数				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R4)	3.0					中間値(事中評価)	(R4)	—				
実績値(事後評価)	3.0	5.0					実績値(事後評価)	156.0	—				
目標値		5.0	—	—	—		目標値		—	—	—	—	

評価指標(単位)		アンケート回答数					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R4)	—					中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)	1,991.0	—					実績値(事後評価)						
目標値		—	—	—	—		目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	3	やや高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況			適正規模・適正配置検討委員会において丁寧な議論がなされているため、答申の時期が予定より遅れる見込みである。そのため、当初、令和5年度中の計画策定を予定していたが、令和6年度にずれ込む見込みである。				
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等							
新年度の要求事項（改革・改善案）							

○事後評価

区分	年間（4月～3月）											
取組内容	・適正規模・適正配置検討委員会の会議を開催した。（4月26日 第4回検討委員会、5月29日 第5回検討委員会、7月10日 第6回検討委員会、8月9日 第7回検討委員会、10月4日 第8回検討委員会、11月20日 第9回検討委員会） ・検討委員会から教育長に対する答申書の提出を受けた。（12月26日） ・庁内組織「未来の学校づくりプロジェクトチーム」の会議を開催し、計画案について協議した。（2月7日 適正規模化ワーキンググループ会議開催）											
成果	検討委員会の会議を開催し、検討委員会から意見をまとめた答申書を受けた。答申を基に、適正規模・適正配置計画案の作成に着手した。											
課題	検討委員会からの答申を基に、令和7年3月末の完成を目指し、適正規模・適正配置計画を策定する予定としているが、議会や地域、保護者等からの様々な意見・要望により、予定どおり進まない可能性がある。予定どおり計画が策定できない場合は、計画に記載している学校再編スケジュールを見直す必要が生じるため、小中学校の適正規模化が遅れることにより、子どもたちの教育環境の充実を図ることができない可能性がある。											

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		グローバル人材育成事業						担当課		学校教育課	
目的	対象	玉野市内小中学校・高校 児童生徒						政策体系		2 - 5	
	意図	英語コミュニケーション能力の向上を図る。									
手段	外国人英語助手（ALT）との教育活動を通して、教育活動の充実を図る。						新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8				
	ALT 配置による英語教育の充実		ALT 配置による英語教育の充実								
	効果的なALT 配置についての検討		効果的なALT 配置についての検討								
事業費 ・財源	総事業費 （千円）		24,961	総事業費 （千円）		24,961	総事業費 （千円）			総事業費 （千円）	
	ALT派遣業務委託料		24,961	ALT派遣業務委託料		24,961					
	特定	0	一般	24,691	特定		一般	24,691	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)		1人の児童生徒が1年間にALTによる授業を受ける回数。（小学校3年生以上）					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R1)	10					中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)		35					実績値(事後評価)						
目標値	7	35	35	35	35		目標値						

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等			特になし				
新年度の要求事項（改革・改善案）			現契約では3年間の事業となっているため、次年度も事業費の継続をお願いしたい。				

○事後評価

区分												
取組内容	ALTを市内全小学校校に配置し、各校の英語活動に充実に努めた。また、更なる有効活用のため、夏季休業中には小教研外国語部会と連携し、ALTによる教職員向けの英語研修会を実施した。											
成果	各校で英語の授業の充実が図られ、ALTの配置に関する調査において、学校から肯定的な回答が得られている。											
課題	岡山県学力学習状況調査における英語科の得点が平均値を下回るなど、児童生徒の英語力の向上は今後も必要である。											

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名			教職員スキルアップ事業						担当課		学校教育課			
目的	対象	玉野市内小中学校教職員									政策体系		2 - 5	
	意図	教職員の指導力及び専門性を高める。												
手段	外部講師を招へいた各種研修会・授業研修会等を開催									新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8				
	各校や教職員の課題に応じた研修会の実施			各校や教職員の課題に応じた研修会の実施										
	研修会実施による成果の確認			研修会実施による成果の確認										
事業費 ・財源	総事業費（千円）		60	総事業費（千円）		215	総事業費（千円）			総事業費（千円）				
	報償金		34	報償金		115								
	旅費		26	旅費		100								
特定		一般	60	特定		一般	215	特定		一般		特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)		外部講師を活用した研修会の実施回数					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R4)	4					中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)		5					実績値(事後評価)						
目標値	8	10	12	14	15		目標値						

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況		本市の教育活動の充実が求められる中で、今年度、各学校や教職員のニーズに応じて、8月末の時点で5回の研修(国語、情報教育、道徳、地域連携、特別支援教育)について大学の助教授や元校長などを招聘し、研修会を開催した。					
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		学校や教職員からの研修ニーズが高く、要望のあった全ての研修を実施することはできなかった。					
新年度の要求事項(改革・改善案)		すべてのニーズに応えることはできない状況ではあるが、本市の教育として取り組むべき重点事項に応じて取組を行うため、次年度も事業費の継続をお願いしたい。					

○事後評価

区分	年間(4月～3月)					
取組内容	各校における校内研修を充実するための体制づくりを行うとともに、中学校区や広域学校間連携の研修を推進した。					
成果	各校において、校内研修の充実が図られており、全国学力学習状況調査における授業改善に関する肯定的な回答項目が多くなっている。					
課題	各校からのニーズに応じた研修講師の確保ができない場合がある。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		たまのの魅力再発見・発信事業						担当課		学校教育課		
目的	対象	玉野市内小中学校 児童生徒										
	意図	キャリア教育の充実を図り、地域の活性化に寄与する人材を目指す。						政策体系		2 - 5		
手段	児童生徒に様々な体験活動や地域の資源を活用した教育活動を実施し、学びから得た地域の魅力や課題解決方法を発信する。						新規		新規			
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8					
	人材バンクの作成		人材バンクの有効活用									
	自校の課題等に応じたキャリア活動の実施		自校の課題等に応じたキャリア活動の実施									
	地域の魅力や課題解決方法を発信		地域の魅力や課題解決方法を発信									
事業費 ・財源	総事業費 (千円)		1,029		総事業費 (千円)		1,801		総事業費 (千円)			
	報償金		21		報償金		81					
	旅費		39		旅費		70					
	消耗品費		784		消耗品費		1,280					
	印刷製本費		99		印刷製本費		150					
	運搬料		62		運搬料		150					
	賠償責任保険料		26		賠償責任保険料		70					
	特定	385	一般	644	特定	600	一般	1,201	特定		一般	

○評価指標

評価指標(単位)		事業実施学校数					評価指標(単位)		地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある小中学生(%)				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()	21					中間値(事中評価)	(R4)	68.9				
実績値(事後評価)		21					実績値(事後評価)		68.9				
目標値	—	21	21	21	21		目標値	47.8	57.0	60.0	61.0	62.0	

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	3	やや高い				成果	③ 現状維持
有効性	3	やや高い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等			管理職研修会やキャリア教育担当者会で、事業内容を各校に周知し、本事業により児童生徒が本市の魅力について発信する取組が行われるよう、全小中学校で自校の課題等に応じたキャリア活動を計画し、実施している。各校からのニーズが様々であるため、情報を収集しつつ、人材バンク作成や魅力発信の取組を充実させていきたい。				
新年度の要求事項（改革・改善案）			今年度様々な取組が行われ、学校間でも実践事例の共有が行われているため、同等の取組を行うことができるよう、事業費の継続をお願いしたい。				

○事後評価

区分	年間(4月～3月)					
取組内容	各校の取組を基に、本市の魅力について発信する事業と、学校の教育活動へ協力いただける人や企業の人材バンクへの登録・充実を中心に取組んだ。					
成果	人材バンクへの登録企業が15団体となり、学校教育活動へ協力いただける外部人材が充実してきている。また、地域への発信の活動も半数程度の学校で行われており、充実が図られつつある。					
課題	事業を実施したものの、すべての学校で発信の取組とはなっておらず、発信の取組が不十分な学校もあった。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		支援員配置事業				担当課		学校教育課		
目的	対象	玉野市内小中学校 児童生徒				政策体系		2 - 5		
	意図	<スクールカウンセラー> 児童生徒や保護者の多様な相談支援に取り組み、不登校やいじめ、学校不適応等のあらゆる問題について早期発見するとともに、継続してより一層きめ細やかな支援を行う。 <学校サポートスタッフ（支援員）> 様々な課題を抱える児童生徒への教員による指導支援をサポートしたり、教職員業務をサポートすることで、教員の子どもと向き合う時間を確保し、適切な指導支援を行えるようにする。 <学校サポートスタッフ（部活動指導員）> 中学校における部活動指導体制の充実を促進し、部活動を担当する教員の支援を行うとともに部活動の質的な向上を図る。								
手段	スクールカウンセラー、学校サポートスタッフ（支援員）及び（部活動指導員）を配置する。					新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8			
	スクールカウンセラー配置									
	学校サポートスタッフ（支援員）配置									
	学校サポートスタッフ（部活動指導員）配置									
事業費 ・財源	総事業費（千円）	29,738	総事業費（千円）		総事業費（千円）		総事業費（千円）			
	会計年度任用職員報酬	28,464								
	社会保険料	86								
	費用弁償	1,189								
特定	842	一般	28,896	特定		一般		特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)		スクールカウンセラー配置人数					評価指標(単位)		学校サポートスタッフ（支援員）配置				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(人)	3					中間値(事中評価)	(人)	33				
実績値(事後評価)		3					実績値(事後評価)		33				
目標値		3					目標値		33				

評価指標(単位)		学校サポートスタッフ（部活動指導員）配置					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(人)	5					中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)		5					実績値(事後評価)						
目標値		5					目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等							
新年度の要求事項（改革・改善案）							

○事後評価

区分	
取組内容	各校にスクールカウンセラーや各種サポートスタッフを配置し、児童生徒1人1人のニーズに応じた教育活動を進めた。
成果	スクールカウンセラーや各種サポートスタッフの配置により、児童生徒の多様なニーズに対応することができた。また、特別支援教育や部活動など、様々な教育活動の充実につなげることができた。
課題	学校からのニーズが非常に高いため、事業拡大の可能性について検討が必要。

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		小学校長期欠席・不登校対策推進事業							担当課		学校教育課				
目的	対象	玉野市内小学校 児童										政策体系		2 - 5	
	意図	不登校に対する小学校の組織的な対応力の向上を図るために、不登校傾向にある児童やその家庭に対して、登校支援や別室での支援及び相談支援を行う支援員を配置することで、配置校の不登校傾向児童の課題解決のための校内支援体制を構築し、保護者支援の取組の充実モデルを市内に広める。													
手段		支援員を配置し、不登校傾向児童の課題解決のための校内支援体制を構築する。										新規／継続		継続	
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8					
	登校支援員を配置する。														
	別室支援員を配置する。														
事業費 ・財源	総事業費 (千円)		5,237	総事業費 (千円)			総事業費 (千円)			総事業費 (千円)					
	会計年度任用職員報酬		5,040												
	社会保険料		15												
	費用弁償		182												
	特定	5,237	一般	0	特定		一般		特定		一般		特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)		登校支援員・別室支援員配置人数					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()	8					中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)		8					実績値(事後評価)						
目標値		8					目標値						

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等							
新年度の要求事項（改革・改善案）							

○事後評価

区分											
取組内容	市内の小学校に、登校支援員を5人、別室支援員を3人配置した。										
成果	配置校において、登校しにくい児童へチーム学校として対応する仕組みが整い、長期欠席・不登校者への対応が担任だけでなく、組織対応が可能となった。										
課題	長期欠席・不登校の児童数が減少した訳ではなく、全国的な傾向と同じく玉野市も増え続けており、配置校においても例外なく増えている。新たな長期欠席・不登校者を生まない取組も検討していく必要がある。										

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		小1 グッドスタート支援事業						担当課		学校教育課					
目的	対象	玉野市内小学校 1年生児童						政策体系		2 - 5					
	意図	小学校第1学年の児童の基本的な生活習慣の確立や基礎学力の向上等を図り、義務教育の円滑なスタートをきることができるよう、学級担任等の補助を行う支援員を配置する。													
手段		支援員を配置し、学級担任等の補助を行う。						新規／継続		継続					
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8								
	小1 グッド支援員を配置する														
事業費 ・財源	総事業費 (千円)		2,376		総事業費 (千円)				総事業費 (千円)						
	会計年度任用職員報酬		2,180												
	期末手当		113												
	社会保険料		7												
	費用弁償		77												
	特定		2,367 一般		9 特定				一般		特定				一般

○評価指標

評価指標(単位)		配置人数				評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	()	4				中間値(事中評価)	()				
実績値(事後評価)		4				実績値(事後評価)					
目標値		4				目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	()					中間値(事中評価)	()				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等							
新年度の要求事項（改革・改善案）							

○事後評価

区分										
取組内容	県の基準に従い、小1グッド支援員を荘内小学校に3名、宇野小学校に1名を配置した。									
成果	小1グッド支援員を配置し、小学校1年生における教育活動の充実を図ることができた。また、1年生の教職員のサポート体制の充実につながることができた。									
課題	配置期間が4月から10月となっており、年度途中で任用が切れるため、人材確保が非常に難しい。									

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		教育サポートセンター管理運営事業						担当課		教育サポートセンター			
目的	対象	玉野市内在住の39歳までの子ども・若者とその保護者・関係者								政策体系		2-5	
	意図	子どもたちが個々の力を大切にしながら、健やかに成長する。											
手段	関係機関と連携しながら、子ども一人ひとりの育ちにに応じた支援を継続的に行う。								新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8			
	電話・来所・訪問による教育相談の充実			電話・来所・訪問による教育相談の充実									
	体験活動・ワークショップの実施			体験活動・ワークショップの実施									
	不登校児童生徒への教科講師による学習支援			不登校児童生徒への教科講師による学習支援									
	不登校・ひきこもりの子を持つ保護者支援			不登校・ひきこもりの子を持つ保護者支援									
	市内全園への保育カウンセラーの派遣			市内全園への保育カウンセラーの派遣									
事業費 ・財源	総事業費（千円）		2,641	総事業費（千円）		3,322	総事業費（千円）			総事業費（千円）			
	報償金		138	報償費		161							
	旅費		172	旅費		491							
	費用弁償		163	需用費		1,784							
	消耗品費		250	役務費		570							
	自動車借上料		58	委託料		275							
	その他		1,860	負担金		41							
	特定	一般	2,641	特定	一般	3,322	特定	一般		特定	一般		

○評価指標

評価指標(単位)		相談実績（相談の件数）（件）					評価指標(単位)		ワークショップの利用者数（人）				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	750					中間値(事中評価)	(R3)	20				
実績値(事後評価)		2,533					実績値(事後評価)		106				
目標値	3,038	3,050	3,100	3,150	3,150		目標値	50	50	50	55	55	

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	④ 拡充
有効性	3	やや高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		適応指導教室利用児童生徒数が既に年間目標値を超えており、当初の予定よりも大型バスの借上げが必要となった。さらに、個別対応が必要な場合も多く、対応するスタッフの不足で利用児童生徒への対応が行き届かない現状である。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		市内児童生徒の不登校者数が増加している現状により、適応指導教室の需要が高まっている。そのため、児童生徒への個別支援の充実が必要である。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	児童生徒、若者、保護者、学校や園からの相談に対し、状況や実態に応じて電話・来所・訪問等で対応した。経験が不足しがちな学校に行きづらい子どもを対象にワークショップを実施したり、不登校・ひきこもりの子どもを持つ保護者に対して保護者の会を開催した。					
成果	講師を呼んでワークショップを実施することにより、多くの児童生徒の参加が得られ、保護者の会は不登校を考える保護者の会には31名、ほととスペース家族の会には28名が参加しており、様々な活動が子どもや保護者の支援につながっている。					
課題	相談実績については、R4年度3306件に対し、R5年度は2533件となった。相談件数自体の減少幅は少ないが、電話相談や来所相談、ケース会議の件数が大きく減少しており、相談の終了が問題解決に結びついているのか、学校等関係機関と良好な連携体制を維持できているのか検討する必要がある。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		青少年育成センター管理運営事業						担当課		社会教育課		
目的	対象	市民									政策体系	2 - 5
	意図	青少年の見守り活動を行い、青少年の非行防止と健全な育成のため、学校、地域、警察などの関係機関と連携する。										
手段	街頭補導や機関紙「みちびき」の発行を通して、青少年健全育成活動に対する市民への意識啓発を行う。									新規／継続	継続	
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8					
	街頭補導、啓発活動、環境浄化活動											
事業費 ・財源	総事業費（千円）		7,726	総事業費（千円）		466	総事業費（千円）			総事業費（千円）		
	報奨金・賞賜金		37	報奨金		32						
	費用弁償		254	費用弁償		80						
	印刷製本費		50	印刷製本費		60						
	看板製作委託料		85	看板製作委託料		85						
	中学校区連絡協議会補助		143	中学校区連絡協議会補助		143						
	その他		7,157	その他		66						
	特定	一般	7,726	特定	一般	466	特定	一般		特定	一般	

○評価指標

評価指標(単位)		街頭補導実施回数					評価指標(単位)		機関誌の発行回数				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	75					中間値(事中評価)	(R3)	4				
実績値(事後評価)		152					実績値(事後評価)		7				
目標値	157	157					目標値	7	7				

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況			—				
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等			特になし				
新年度の要求事項（改革・改善案）			特になし				

○事後評価

区分	年間（4月～3月）									
取組内容	・警察、PTA、青少年健全育成連絡協議会等、関係諸団体と連携を図りながら巡回活動や看板設置に取り組み、安全確保に努めた。 ・補導は、1年間を通して計152回実施し、指導員、教職員、PTA等、延べ441人が参加した。 ・機関誌「みちびき」は、計7回、学校園、警察、青少年育成団体、行政機関等の関係団体に配付した。									
成果	・『岡山の少年非行』（岡山県警察）によると、刑法犯少年の割合が0.15％（前年比▲0.05％）、刑法犯少年が11人（前年比▲3人）、不良行為少年が82人（前年比▲14人）となっており、概ねコロナ禍以前の令和元年度よりは減少している。令和5年度中も、大きな問題は無く青少年の健全育成、とりわけ非行の抑止力としての成果が出ていると言える。									
課題	・青少年を取り巻く環境が急速に変化し、スマートフォン・インターネットのサイト等で被害に遭うケースが増加している。啓発活動を継続し、適切な利用を推奨していきたい。 ・指導員を含め、一部で高齢化が進んでいるため、新たな担い手の発掘が課題である。									

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		給食センター管理運営事業・学校給食会運営補助事業					担当課		学校教育課	
目的	対象	玉野市内小中学校 児童生徒					政策体系		2 - 5	
	意図	安全安心な給食を安定的に供給し、学校給食の充実を図る。								
手段	PFIを活用し、給食センターの施設整備、運営及び維持管理を行う。					新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8			
	給食センター運営業務の充実									
	給食センター維持管理業務の充実									
	施設購入費									
	給食費の補助									
事業費 ・財源	総事業費（千円）		316,233	総事業費（千円）			総事業費（千円）			
	給食センター運営業務委託		207,866							
	給食センター維持管理業務		37,027							
	学校給食会補助		41,212							
	施設購入費		28,238							
	庁用器具費①		249							
	その他		1,643							
	特定	0	一般	316,233	特定		一般		特定	

○評価指標

評価指標(単位)		年間提供食数					評価指標(単位)		食育指導の回数				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)		715,068					実績値(事後評価)		208				
目標値		715,068					目標値		208				

評価指標(単位)		保護者の負担軽減額（千円）					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)		41,212					実績値(事後評価)						
目標値		41,212					目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等							
新年度の要求事項（改革・改善案）							

○事後評価

区分		
取組内容	①事業者へ給食業務を委託し安心安全な給食を提供することに努めた。 ②食育の推進に向け学校と連携して指導を行った。③国の交付金を活用し、給食費の保護者負担の軽減を図った。	
成果	①市内小中学校に安定的に給食を提供した。②学校に栄養教諭が赴き、学校と協力して食指導を行った。 ③保護者の負担が軽減された。	
課題	①近年、物価が高騰しており、委託料が当初の予定より増加傾向にある。 ③給食費の恒久的な軽減・無償化に向けては、多額の経費が継続的に必要となり、財源確保が難しい。	

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		講座開催事業					担当課		社会教育課														
目的	対象	市民																					
	意図	各種主催イベント及び定期講座を効果的に実施する。							政策体系		2 - 6												
手段	各種主催イベント及び定期講座の開催についてホームページ、各公民館を通じ周知させる。							新規／継続		継続													
年度別 事業内容	R5		R6			R7			R8														
	主催イベント、定期講座の自己評価		主催イベント、定期講座の自己評価																				
	開催団体や講師による開催内容の評価		開催団体や講師による開催内容の評価																				
事業費 ・財源	総事業費（千円）		1,012		総事業費（千円）		1,185		総事業費（千円）														
	報償金		993		報償金		1,153																
	消耗品費		18		消耗品費		30																
	食糧費		1		食糧費		2																
特定		1,012		一般		0		特定		1,185		一般		0		特定				一般			

○評価指標

評価指標(単位)		各種主催イベント及び定期講座の定員に対する参加者の割合（％）				評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)	56.7				中間値(事中評価)	(R3)				
実績値(事後評価)	52.8%	47.0				実績値(事後評価)					
目標値		70.0	70.0	70.0	70.0	目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)					中間値(事中評価)	()				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	3	やや高い				成果	③ 現状維持
有効性	3	やや高い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況			—				
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等			新型コロナウイルス感染防止対策を数年実施した結果、講座やイベントへの参加人数が減少している。				
新年度の要求事項（改革・改善案）			広報誌やホームページを活用し関係団体や来訪者に周知する。				

○事後評価

区分	年間（4月～3月）				
取組内容	主催イベントについては、R4年度まではコロナ禍で入場制限を設け実施したが、R5年度は入場制限を設けず実施した。また、定期講座は、「歌の広場」が開催となったが、パソコン講座「ワード、エクセル」は、講師の都合により開催できなかった。				
成果	R5年度の主催イベントは、ミネルパコンサート（ジャズ、箏、オカリナ）354人、作品展114人の来場者があった。また、定期講座は、9講座開催し、延べ1,179人が受講した。				
課題	マンパワーが不足しており、内容の充実は困難である。				

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		講座事業				担当課		社会教育課			
目的	対象	市民						政策体系		2 - 6	
	意図	地域住民に対し、心豊かな生活をするために趣味・実技・実務的内容の学習講座を開設し、生涯学習を推進する。									
手段	各公民館で定期講座・特別講座等を開催する。						新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8				
	定期講座・特別講座の開講		定期講座・特別講座の開講								
	グループ講座の推進		グループ講座の推進								
事業費 ・財源	総事業費（千円）		244	総事業費（千円）		500	総事業費（千円）				
	報償金		244	報償金		500					
	特定	244	一般	0	特定	630	一般	-130	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)		講座受講者延べ人数					評価指標(単位)		登録グループ数				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	2,562					中間値(事中評価)	(R3)	307				
実績値(事後評価)		8,347					実績値(事後評価)		276				
目標値	6,606	6,700	6,800	6,900	7,000		目標値	329	330	340	350	360	

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討	今後の方向性	
妥当性	3	やや高い				成果	④ 拡充
有効性	2	やや低い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況		—					
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		公民館利用者は高齢者が多く、新型コロナウイルス感染症を契機に解散した学習グループも多く見られた。公民館で実施していた主催講座も消滅したものがあり、公民館から足が遠のき学習機会の継続が絶たれてしまった人が少なくない。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		各公民館が地域ごとの課題を探索し、改善できるような講座・事業を作ることを自覚する必要がある。地域での人材を発掘するほか、研修への積極的参加などで講座づくりなどの各公民館職員のスキルをあげるよう促す。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	自館に生かせるよう他市公民館の優良な取り組みを紹介した他、特別講座を企画できるよう全館に講師用の報償費を配当した。					
成果	新たに単発の特別講座を開催した館もあり、自主的な事業開発の萌芽が見られた。					
課題	地域の課題を考え、取り組むという公民館本来の目的に沿うよう、引き続き公民館職員のスキルを上げるよう促す必要がある。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		地域人づくり大学事業						担当課		社会教育課	
目的	対象	市民									
	意図	地域での活動に役立つ知識・技術、人材育成のきっかけづくりを行う。						政策体系		2 - 6	
手段	様々な学習機会を提供する。						新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8				
	講座の開催		講座の開催								
事業費 ・財源	総事業費（千円）		634	総事業費（千円）		1,048	総事業費（千円）			総事業費（千円）	
	報償金		26	報償金		20					
	消耗品費		318	費用弁償		5					
	講座委託料		290	消耗品費		20					
				講座委託料		1,000					
				食糧費		3					
	特定		一般	634	特定		一般	1,048	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)		講座の開催数					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	2					中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)		7					実績値(事後評価)						
目標値	9	10	10	10	10		目標値						

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討	今後の方向性	
妥当性	3	やや高い				成果	③ 現状維持
有効性	2	やや低い				コスト	③ 現状維持
効率性	2	やや低い					
前年度の課題等に対する取組状況			—				
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等			本事業は、地域を支える市民が、地域活動に役立つ知識を習得する場としての「地域人づくり大学」を開校し（１３年経過）、地域活動における様々な場面で活躍できる人材の育成することを目的としている。しかし、現状では、地域で活躍する人材を育成するという本来の目的が果たせておらず、市民が学習・体験する一講座の開講となっている。				
新年度の要求事項（改革・改善案）			本来の目的である地域で活躍する人材の育成につながる講座内容とし、開催場所や実施方法など事業全体の見直しを図る。				

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	全7回の講座を開催。内容については次のとおり。5/21：絵本の読み聞かせ。8/8：災害ボランティア養成講座。9/21：おとなの音読。10/7・21：玉野のお宝さがし。10/22：短歌講座。11/12：まぼろしの備前醤油。3/10：玉野の魅力発見。					
成果	全7回の参加者については、次のとおり。絵本の読み聞かせ：27名。災害ボランティア養成講座：22名。おとなの音読：34名。玉野のお宝さがし：28名。短歌講座：11名。まぼろしの備前醤油：30名。玉野の魅力発見：25名。計177名の市民に学習・体験していただく機会を設けることができた。					
課題	人材育成という本来の目的が果たせておらず、市民が学習・体験する一講座の開講となっている。今後は、事業の目的や進め方を見直す必要がある。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		生涯学習センター管理運営事業						担当課		社会教育課	
目的	対象	市民									
	意図	生涯学習センター管理及び運営をスムーズに実施する。						政策体系		2 - 6	
手段	随時館内をチェックし、運営上支障がある箇所は修理や整備などを行う。						新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8				
	適正な館内の管理及び運営		適正な館内の管理及び運営								
事業費 ・財源	総事業費（千円）		5,582	総事業費（千円）		6,331	総事業費（千円）			総事業費（千円）	
	消耗品費		418	消耗品費		606					
	施設修繕料		1,502	施設修繕料		1,402					
	電信料		316	電信料		341					
	委託料		3,088	委託料		3,729					
	機械器具借上料		93	機械器具借上料		93					
	その他		167	その他		160					
	特定	641	一般	4,942	特定	829	一般	5,502	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)		各種主催イベント及び定期講座の定員に対する参加者の割合（％）				評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)	56.7				中間値(事中評価)	(R3)				
実績値(事後評価)		47.0				実績値(事後評価)					
目標値	52.8%	70.0	70.0	70.0	70.0	目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)					中間値(事中評価)	()				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	3	やや高い				成果	③ 現状維持
有効性	3	やや高い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況			—				
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等			施設の老朽化、特に空調施設関係が不調で、修繕しようにも部品が手に入らない場合もあり、今後の更新方法が課題となっている。				
新年度の要求事項（改革・改善案）			高山ドームの照明は、水銀灯を使用しており、製造中止となっており、ＬＥＤに取り替える。				

○事後評価

区分	年間（4月～3月）				
取組内容	玉野市生涯学習センター施設及び玉野備南高等学校施設の貸館業務、老朽化施設の修繕等施設の維持管理を行った。				
成果	令和5年度の貸館業務の主なもの、多目的ホール5,951人、高山ドーム3,404人であった。また、空調の施設修繕を行った。				
課題	施設の老朽化、特に空調施設が不調で、修理が難しい状況で、更新が必要である。				

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名			社会教育施設管理運営事業						担当課		社会教育課			
目的	対象		市民								政策体系		2 - 6	
	意図		市民の交流の場、学習の場を提供する。											
手段		中央公民館として市内地域の公民館と連携しながら、貸館や講座、展示会等を開催する。市民の学習環境を整えるため、書籍の冊数や館内の環境を整備する。								新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8				
	図書館の運営（指定管理）			図書館の運営（指定管理）										
	中央公民館の運営（指定管理）			中央公民館の運営（指定管理）										
事業費 ・財源	総事業費（千円）		138,671	総事業費（千円）		137,669	総事業費（千円）			総事業費（千円）				
	委託料		114,950	委託料		114,950								
	負担金補助及び交付金		23,721	負担金補助及び交付金		22,719								
	特定			一般	138,671	特定		一般	137,669	特定		一般		

○評価指標

評価指標(単位)		図書館及び中央公民館の来館者数					評価指標(単位)		貸出冊数				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	115,853					中間値(事中評価)	(R3)	115,987				
実績値(事後評価)		358,912					実績値(事後評価)		343,652				
目標値	272,994	400,000	400,000	400,000	400,000		目標値	370,450	400,000	400,000	400,000	400,000	

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況		—					
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		【委託料】電気代の高騰に伴い、現在の指定管理の委託料では賄えない支出が見込まれている。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		特になし					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）				
取組内容	毎月指定管理者と連絡調整会議を開催した他、問題が発生した場合には連携して対処した。				
成果	指定管理者との確かな協力体制の構築により、安定した事業運営ができた。				
課題	引き続き安定した事業運営ができるよう協力体制の維持を図る他、電気代の高騰による支出超過への検討を図る必要がある。				

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		公民館管理運営事業						担当課		社会教育課			
目的	対象	市民								政策体系		2 - 6	
	意図	地域住民に対し社会教育の場を提供する。											
手段	各公民館を適切に運営する。								新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6			R7			R8				
	法定点検等の実施		法定点検等の実施										
	環境整備		環境整備										
事業費 ・財源	総事業費（千円）		36,156		総事業費（千円）		47,686		総事業費（千円）				
	消耗品費		1,959		消耗品費		2,738						
	電気料		16,099		電気料		21,500						
	施設修繕料		3,551		施設修繕料		5,340						
	電信料		1,982		電信料		2,200						
	委託料		8,061		委託料		10,269						
	その他		4,506		その他		5,639						
	特定	6,458	一般	29,698	特定	6,141	一般	41,545	特定		一般		

○評価指標

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)					中間値(事中評価)	(R3)				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)					中間値(事中評価)	()				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況		—					
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		経費の値上がりにより当初の想定よりも予算消費が早い費目があり、継続的な物価高騰への対応に苦慮している。 いずれの施設も老朽化しており、電気・空調等のインフラ設備にも影響が出ているところがある。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		省エネ・省資源化を周知徹底し支出を減らす。 計画的な修繕の実行により安定した施設運営を継続できるよう、修繕計画を策定する。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	法定点検等必要な維持管理を実施した他、修繕が必要な施設・箇所への対応を行った。					
成果	自動ドア等の重大事故が発生しうる箇所を早期に修繕する等、施設の安全性を向上させた。					
課題	引き続き老朽化・劣化等により修繕が必要な施設が多数ではあるが、公民館施設の適正規模化を見据えての優先順位の付け方を慎重に検討していく必要がある。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		公民館整備事業						担当課		社会教育課		
目的	対象	市民										
	意図	地域住民に対し、社会教育の場を提供する。								政策体系		2 - 6
手段	各公民館の不具合を調べ、適宜改修等を行う。								新規／継続		継続	
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8		
	計画修繕の実施			計画修繕の実施								
	緊急修繕の実施			緊急修繕の実施								
事業費 ・財源	総事業費（千円）		17,845	総事業費（千円）		5,940	総事業費（千円）			総事業費（千円）		
	整備工事請負費		17,845	整備工事請負費		5,940						
	特定	16,200	一般	1,645	特定	5,900	一般	40	特定		一般	

○評価指標

評価指標(単位)		建築基準法点検における要正箇所の改修				評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)	0				中間値(事中評価)	(R3)				
実績値(事後評価)		1				実績値(事後評価)					
目標値	0	2	2	2	2	目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)					中間値(事中評価)	()				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況		—					
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		外壁改修や屋上防水改修など、高額な改修が必要とされる指摘事項が多く、前進が困難である。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		従前は全ての公民館の不調を優劣を付けずに把握していたため、施設運営にとって根幹である電気・空調に致命的な不調を来してきた。改善を図っている途上であるが、今後は建物の維持管理において優先されるべき事項を更に整理し、施設の現状を正確に把握して、計画的な改修へとつなげる。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）				
取組内容	外壁の損傷により安全な利用ができない施設の改修を行った。				
成果	建築基準法に基づいた点検の指摘事項を一部改善でき、利用者の安全を図ることができた。				
課題	未だ多くの施設で老朽化による損傷・経年劣化による不調がある。引き続き建物の維持管理において優先されるべき事項を整理し、施設の現状を正確に把握して、計画的な改修へとつなげていく必要がある。また、蛍光灯の製造中止に伴う照明器具のLED化を検討する。				

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		図書館管理運営事業						担当課		社会教育課		
目的	対象	市民										
	意図	図書館の業務委託に含まれない経費の管理を行い、図書館の安定的運営を維持する。								政策体系		2 - 6
手段	電算システムの借上や保守委託、めばる号等の公用車維持、負担金の支払い								新規／継続		継続	
年度別 事業内容	R5		R6		R7			R8				
	電算管理システム維持管理		電算管理システム維持管理									
	公用車維持管理		公用車維持管理									
	協会負担金支出		協会負担金支出									
事業費 ・財源	総事業費（千円）		4,339	総事業費（千円）		4,364	総事業費（千円）			総事業費（千円）		
	自動車修繕料		84	自動車修繕料		158						
	自動車損害保険料		20	自動車損害保険料		24						
	委託料		2,482	委託料		2,482						
	器具借上料		1,694	器具借上料		1,492						
	負担金補助及び交付金		32	負担金補助及び交付金		32						
	その他		29	その他		176						
	特定	50	一般	4,289	特定	50	一般	4,314	特定		一般	

○評価指標

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)					中間値(事中評価)	(R3)				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)					中間値(事中評価)	()				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況		—					
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		特になし					
新年度の要求事項（改革・改善案）		特になし					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）				
取組内容	図書館の業務委託に含まれない移動図書館車の修繕料や器具借上料、負担金等の経費の管理を行った。				
成果	図書館の安定的運営を維持することができた。				
課題	特になし				

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		部活動地域移行検討事業						担当課		社会教育課		
目的	対象	玉野市立中学校の生徒						政策体系		2 - 6		
	意図	中学生がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる環境を整備する。										
手段	部活動地域移行検討委員会の設置及び実証事業として外部指導者による合同の練習会等を実施する。						新規／継続		継続			
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8					
	検討委員会の設置		運営体制や運営主体の構築									
	実証事業の実施		実証事業の実施									
事業費 ・財源	総事業費（千円）		364	総事業費（千円）		1,141	総事業費（千円）			総事業費（千円）		
	報奨金		243	報奨金		377						
	旅費		25	旅費		15						
	消耗品費		10	消耗品費		15						
	郵便料		6	傷害保険料		158						
	傷害保険料		46	委託料		576						
	自動車借上料		36									
	特定	239	一般	125	特定		一般	1,141	特定		一般	

○評価指標

評価指標(単位)		検討委員会の開催数					評価指標(単位)		実証事業を実施した回数				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)						中間値(事中評価)	(R3)					
実績値(事後評価)		2					実績値(事後評価)		14				
目標値		6					目標値		6				

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	④ 拡大
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況		—					
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		特になし					
新年度の要求事項（改革・改善案）		令和6年度は、運営体制の構築を目指し、受け皿となる活動及び指導者の確保、学校現場との調整、また、関係団体、生徒、保護者への説明機会を増やす。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）											
取組内容	・部活動地域移行検討委員会を開催し、玉野市の方針等を協議した。 ・外部指導者による実証事業（令和5年11月～令和6年1月）を実施した。 陸上競技（計5回）、バスケットボール（計5回）、軟式野球（1回）、吹奏楽（1回）、書道（1回）、茶道（1回）											
成果	・運動部の実証事業に参加した生徒は、楽しむことに加え、一定の専門的な指導、技術向上を求めていることが分かった。 ・実証事業の実際にあたり、協力団体や指導者の方との関係をもつことができた。 ・吹奏楽部は「玉野市中学校吹奏楽団」として活動を行うことになった。											
課題	・部活動地域移行の取り組みに対する関心、理解は、生徒、顧問によって大きく異なっていると思われる。部活動地域移行に向けてゴールイメージを玉野市内で共有して進めていく必要がある。 ・運営体制の構築、生徒の移動手段、受益者負担額の適正額の算出、指導を希望する教員の兼職兼業など、協議、検討が必要である。											

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		文化協会運営補助事業						担当課		社会教育課	
目的	対象	文化協会						政策体系		2 - 7	
	意図	文化協会活動の支援									
手段	文化協会の事務局となり、各団体の行事で使用する会場（公民館等）の調整及び申請などを行う。						新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8				
	活動費の支給		活動費の支給								
	各団体の活動支援		各団体の活動支援								
	表彰状贈呈式の開催		表彰状贈呈式の開催								
事業費 ・財源	総事業費（千円）		428	総事業費（千円）		490	総事業費（千円）				
	負担金補助及び交付金		428	負担金補助及び交付金		490					
	特定		一般	428	特定		一般	490	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)		加盟団体数					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	23					中間値(事中評価)	(R3)					
実績値(事後評価)		22					実績値(事後評価)						
目標値	22	22	22	22	22		目標値						

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況		—					
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		特になし					
新年度の要求事項（改革・改善案）		特になし					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	所属団体への活動費の支給及び支援。 玉野市文化協会表彰状贈呈式を執り行い、6名の部会員に表彰状を贈呈した。					
成果	各団体の展覧会や発表会に対する支援等を行うことにより、広く市民へ文化・芸術に触れる機会を提供した。					
課題	令和5年度に1団体が加盟したが、1団体が退部した。今後、各部の新規部会員の獲得に向けた取り組みや支援のほか、日頃の成果を発表する機会や場所の整備が課題。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		市民コンサート事業						担当課		社会教育課					
目的	対象	市民								政策体系		2 - 7			
	意図	音楽（文化）に触れる機会の提供													
手段	毎年、市内音楽団体の資質向上を図るため、コンサートを開催し、市内の合唱団体、中高吹奏楽部・吹奏楽団体を一同に介したフェスティバルを実施する。								新規／継続		継続				
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8								
	市民コンサートの実施		市民コンサートの実施												
事業費 ・財源	総事業費（千円）		270		総事業費（千円）		570		総事業費（千円）						
	委託料		270		委託料		570								
特定		一般		270		特定		一般		570		特定		一般	

○評価指標

評価指標(単位)		コンサート開催回数					評価指標(単位)		入場者数				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	1.0					中間値(事中評価)	(R3)	1,000				
実績値(事後評価)		4					実績値(事後評価)		1,700				
目標値	3	4	4	4	4		目標値	118	1,200	1,200	1,200	1,200	

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討	今後の方向性	
妥当性	3	やや高い				成果	③ 現状維持
有効性	3	やや高い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況		—					
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		玉野市総合体育館の利用料金制度の改定により、当日のホール使用料以外の料金を実行委員会で負担することとなった。 吹奏楽フェスティバルや第九は、他のホールでは舞台の大きさ不足であるため、今後も総合体育館の利用を希望しているが、現状の委託料の額では、総合体育館の利用を継続することは困難である。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		【改善案】吹奏楽フェスティバルについては、利用料金削減のため、市立中学校体育館での演奏会開催とする。 第九については、出演者の人数が多く、総合体育館以外のホールや体育館での開催は困難であるため、各種助成金を利用するほか、観覧座席数の増設等により、増額した利用料の補填及び観客動員数（音楽に触れる機会）の増加を行う。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	「交響曲第九番」合唱付、吹奏楽フェスティバル、玉野市合唱祭、市民コンサートの計4事業を実施。					
成果	目標値を上回る入場者数があり、多くの市民に音楽に触れる機会を提供できた。					
課題	大人数の観客を収容できる音楽ホールがないため、体育施設や小規模ホール、体育館などを利用し演奏会等を行っている。一定規模の人数が収容できるホール等の整備が求められる。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		芸術文化振興事業							担当課		社会教育課			
目的	対象	市民									政策体系		2 - 7	
	意図	文化振興活動の活性化												
手段	市内各地に伝わる文化芸能等の保護育成及び新たな創造活動に対し、助成を行う									新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8				
	申請事業の選定、助成金の交付			申請事業の選定、助成金の交付										
	美術秀作展			美術秀作展										
	西行賞実行委員会			西行賞実行委員会										
	芸術文化振興助成			芸術文化振興助成										
				新たな芸術・文化の拠点施設の検討										
事業費 ・財源	総事業費（千円）		432	総事業費（千円）		677	総事業費（千円）			総事業費（千円）				
	消耗品費		14	報償金		85								
	委託料		200	旅費		113								
	有料道路通行料		9	消耗品費		25								
	負担金補助及び交付金		30	食糧費		20								
	助成金		180	委託料		200								
				その他		234								
	特定		一般	432	特定		一般	677	特定		一般		特定	

○評価指標

評価指標(単位)		助成件数					評価指標(単位)		短歌投稿者件数（西行賞）				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	1					中間値(事中評価)	(R3)					
実績値(事後評価)		1					実績値(事後評価)						
目標値	0	1	1	1	1		目標値	368	400	400	400	400	

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討	今後の方向性	
妥当性	3	やや高い				成果	④ 拡充
有効性	2	やや低い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況		—					
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		芸術・文化振興助成事業：2年連続で申請数0件であったが、今年度は3件の相談があり、うち2件が申請となった。しかし、相談のあった3件とも過去に交付を受けたことがある団体であり、新しい団体からの相談はなかった。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		西行賞：さらに広く多くの人に芸術・文化に触れる機会を提供するため、新たに中学生部門を開催予定。 芸術・文化振興助成事業：過去に交付歴のない団体への周知方法・募集タイミング等の改善により、新しい団体の申請数を増加させるなど文化振興活動の活性化を図る。 募集要綱や会場運営、展示作家数等の整理を行うとともに、受付スタッフを文化協会関係者やボランティアに依頼する。 各イベントの周知方法の見直し、市民が芸術・文化に触れる機会の創出を行う。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	芸術文化振興助成金は1件の助成を行った。 玉野美術秀作展を開催したほか、西行賞表彰式を執り行った。					
成果	芸術文化振興助成金の交付により、被助成金交付団体の活動の発展に寄与した。 玉野美術秀作展は延べ941名の来場があった。また、西行賞においては371名、551首の応募があり、広く市内外に芸術・文化に触れる機会を提供した。					
課題	芸術文化振興助成金：新規申請団体を増やすため、効果的な周知広報活動方法を検討。 西行賞：投稿数を増加するため、広報活動の工夫、厳寒期における式典の開催時期変更や、会場の変更を検討。 玉野秀作展：出展数の減少。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名			文化・スポーツ顕彰事業						担当課		社会教育課		
目的	対象		市民						政策体系		2 - 7、8		
	意図		玉野市の文化・スポーツの充実・発展を促す。										
手段	文化・スポーツの分野で優秀な成績を修め、また長年にわたりその普及振興に尽くした個人及び団体を顕彰する。								新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8			
	文化顕彰表彰			文化顕彰表彰									
事業費 ・財源	総事業費（千円）		348	総事業費（千円）		322	総事業費（千円）			総事業費（千円）			
	報償金		39	報償金		46							
	賞賜金		307	賞賜金		272							
	消耗品費		2	消耗品費		4							
	特定			一般	348	特定		一般	322	特定		一般	

○評価指標

評価指標(単位)		日頃、芸術に触れる機会のある市民の割合（％）					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8		
中間値(事中評価)	(R3)	—				中間値(事中評価)	(R3)						
実績値(事後評価)		32.8				実績値(事後評価)							
目標値	26.9	39.0	40.0	41.0	41.8	目標値							

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8		
中間値(事中評価)	(R3)					中間値(事中評価)	(R3)						
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)							
目標値						目標値							

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	3	やや高い				成果	③ 現状維持
有効性	3	やや高い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況		—					
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		文化部門については6人の推薦があったが、スポーツ部門では1人のみの推薦となり、年により被推薦者が大きく増減する。また、今年度は栄光賞がなく功労賞のみの推薦となった。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		多方面に推薦依頼の案内をするなど、より一層被推薦者の発掘を行う。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）				
取組内容	玉野市文化・スポーツ顕彰表彰式を執り行い、功労者7名、特別賞1名を顕彰した。				
成果	11月3日と3月25日に式典を執り行い、文化・スポーツの充実・発展を図った。				
課題	受賞要件に当てはまる個人・団体の情報収集。				

令和５年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		トップアスリート・トップアーティスト招聘補助事業						担当課		社会教育課	
目的	対象	市民						政策体系		２－７、８	
	意図	本市の競技スポーツ・芸術文化発展を担う人材の育成ならびに本市生涯スポーツ・芸術文化の振興に資する									
手段	国内外で活躍するアスリート・アーティスト及びその指導者を招聘し広く子ども等に技術・芸術文化に接する機会を提供する事業に対し、補助金を交付する。						新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8				
	補助金の交付		補助金の交付								
事業費 ・財源	総事業費（千円）		1,096	総事業費（千円）		1,250	総事業費（千円）			総事業費（千円）	
	負担金補助及び交付金		1,096	負担金補助及び交付金		1,250					
	特定		一般	1,096	特定		一般	1,250	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)		補助金交付件数					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	5.0					中間値(事中評価)	(R3)					
実績値(事後評価)		5					実績値(事後評価)						
目標値	3	5	5	5	5		目標値						

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)						中間値(事中評価)	(R3)					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討	今後の方向性	
妥当性	3	やや高い				成果	④ 拡充
有効性	2	やや低い				コスト	③ 現状維持
効率性	2	やや低い					
前年度の課題等に対する取組状況			—				
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等			当年度は5件の申請があったが、うち4件は例年助成を受けているか、過去に助成を受けたことのある団体であり、新規の申請が少ない。				
新年度の要求事項（改革・改善案）			新規申請団体を増やすため、交付内容の見直しを検討する。				

○事後評価

区分	年間（４月～３月）					
取組内容	国内外で活躍するアスリート・アーティスト及びその指導者を招聘し広く子ども等に技術・芸術文化に接する機会を提供する事業者に補助金を交付した。					
成果	トップアーティスト３件、トップアスリート２件の招聘を補助することにより、子ども達の芸術に対する興味や感性への刺激、スポーツに関する意欲、技術向上が見られた。					
課題	過去に補助実績のある団体からの申請が多く、新規団体からの申請を促す必要がある。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名			文化財保護事業						担当課		社会教育課			
目的	対象	文化財（器物・建造物など）									政策体系		2 - 7	
	意図	市内の重要な文化財の保守、管理、調査を行い、本市の歴史を後世に伝える												
手段	市有文化財の管理、市内文化財の紹介・管理状況の確認及び埋蔵文化財包蔵地の確認									新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8				
	文化財保護委員会の運営			文化財保護委員会の運営										
	市内の文化財の保守、管理、調査			市内の文化財の保守、管理、調査										
	文化財保護強調週間のイベント実施			文化財保護強調週間のイベント実施										
	埋蔵文化財包蔵地の確認			埋蔵文化財包蔵地の確認										
事業費 ・財源	総事業費（千円）		1,642	総事業費（千円）		854	総事業費（千円）			総事業費（千円）				
	報償金		76	報償金		85								
	費用弁償		10	費用弁償		40								
	消耗品費		117	消耗品費		157								
	印刷製本費		140	印刷製本費		68								
	委託料		1,291	委託料		470								
	その他		9	その他		34								
	特定	833	一般	809	特定		一般	854	特定		一般		特定	

○評価指標

評価指標(単位)		文化財保護強調週間イベント					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	-					中間値(事中評価)	(R3)					
実績値(事後評価)		1					実績値(事後評価)						
目標値	1	1	1	1	1		目標値						

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	B	事業の進め方の改善を検討	今後の方向性	
妥当性	3	やや高い				成果	④ 拡充
有効性	3	やや高い				コスト	③ 現状維持
効率性	2	やや低い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		例年、市内各所の文化財を見て回る企画を行っていたが、参加者の年齢層が高く、固定化が生じていた。そこで前年度はイベント内容の見直しのため実施を見送り、今年度は幅広い年齢層が参加できるようワークショップの開催を予定しているが、今後継続してワークショップを開催する場合には、講師やスタッフ、実施場所の確保が必要となる。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		ワークショップの内容も単発で終わるのではなく、石器製作から土器製作、土器による製塩作業など段階を踏むとともに、玉野市の歴史・文化財に関連したものを開催していく。また、指定文化財の現状の確認及び、記念物等の調査を行っていく。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	文化財保護委員会の開催や研修会等参加、市内にある市指定文化財の草刈り、小学校3年生全員に「文化財地図」を配布。 11月5日（祝・月）に石器づくりワークショップを実施。					
成果	ワークショップの開催により、今まで文化財保護強調週間に行っていたイベントでは参加が見られなかった年齢層が初めて参加するなど、幅広い世代が文化財に触れられる機会の提供が行えた。					
課題	文化財保護強調週間に開催するワークショップは、玉野市の歴史や文化財に関連した内容を取り入れ、実施方法などを工夫し、多くの人に文化財に触れる機会を提供する必要がある。 文化財に関する専門職員の不在による、文化財の維持・管理。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		町並み保存拠点施設管理事業						担当課		社会教育課	
目的	対象	八浜町並み保存拠点施設						政策体系		2 - 7	
	意図	八浜の町並みを後世に伝える									
手段	拠点施設の修繕、庭園の剪定等による維持・管理と、先進地視察研修により指定管理者の組織力向上を図る						新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8				
	庭園の草刈り・剪定		庭園の草刈り・剪定								
	視察研修の実施		視察研修の実施								
	施設修繕		施設修繕								
事業費 ・財源	総事業費（千円）		1,302	総事業費（千円）		1,340	総事業費（千円）			総事業費（千円）	
	電気料		134	電気料		228					
	施設修繕料		550	施設修繕料		480					
	電信料		47	電信料		68					
	手数料		33	手数料		20					
	委託料		475	委託料		456					
	その他		63	その他		88					
	特定	一般	1,302	特定	一般	1,340	特定	一般	特定	一般	

○評価指標

評価指標(単位)		施設の適切な維持・管理					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	—					中間値(事中評価)	(R3)					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値	—	—	—	—	—		目標値						

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	C	事業の規模・内容・主体の見直しを検討	今後の方向性	
妥当性	2	やや低い				成果	③ 現状維持
有効性	2	やや低い				コスト	③ 現状維持
効率性	2	やや低い					
前年度の課題等に対する取組状況		—					
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		表面の砂利がなくなり雑草が繁殖。職員 5 名× 2 日で手作業による草刈りを実施。人件費に対するコストパフォーマンスが悪い。竹柵を経年劣化及びシロアリ被害のため撤去。 八浜の歴史に対する展示が少ないとの意見。指定管理団体の高齢化等による閉館日の増加。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		竹柵の再設置及び砂利敷きを行い、景観の改良をおこなう。 シルバーによる草刈りや、草刈り機等を作業に導入し、職員の作業負担を減らす。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	敷地内外の草木の剪定及び廊下の修繕など、施設全体の適切な維持管理に努めた。					
成果	庭園の草刈りや剪定のほか、シロアリ被害のため破損した廊下の修繕を行い、景観維持に努めたほか、各種点検を行い施設全体を適切に維持管理を行えた。					
課題	来場者数の減少。 施設の活用方法の検討。					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		社会体育事業関係事務						担当課		社会教育課	
目的	対象	市民									
	意図	市民の体育環境を整えとともに、市域のスポーツに対する競技力や振興を図る。						政策体系		2 - 8	
手段	学校の運動場や体育館を開放して市民のスポーツ・レクリエーションの場を広げる。スポーツ競技者の育成・振興を図るため激励金を支給する。						新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6		R7		R8				
	激励会		激励会								
	スポーツ推進委員		スポーツ推進委員								
事業費 ・財源	総事業費（千円）		1,698	総事業費（千円）		2,369	総事業費（千円）			総事業費（千円）	
	報償金		1,008	報償金		1,104					
	賞賜金		260	賞賜金		500					
	費用弁償		195	費用弁償		346					
	旅費		25	旅費		103					
	消耗品費		109	消耗品費		149					
	その他		102	その他		167					
	特定		一般	1,698	特定		一般	2,369	特定		一般

○評価指標

評価指標(単位)		1年間に週1回以上スポーツをした市民の割合（％）					評価指標(単位)		体育施設の利用者数（人）				
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	-					中間値(事中評価)	(R3)	59,607				
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値	38.7	37.2					目標値	103,526	161,817				
		48.5	49.0	49.5	50.0			120,000	130,000	140,000	150,000		

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等		激励金について、現在、高校生の場合、市立、県立、部活動、クラブ活動かによって支給対象が異なり、同じような全国大会へ出場する事例で対象外となった保護者から不満の意見があった。					
新年度の要求事項（改革・改善案）		激励金支給要項を見直し検討する。					

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	競技スポーツに積極的に取り組むクラブ等に対し、全国大会以上出場者に激励金を支給する。					
成果	競技スポーツに積極的に取り組むクラブ等の育成と競技力の向上、振興を図ることができた。					
課題	特になし					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		玉野市スポーツ協会運営事業補助						担当課		社会教育課				
目的	対象	市民								政策体系		2 - 8		
	意図	心身の健全な発達と市民生活の向上を図る												
手段	各種スポーツの振興に向け、指導者の養成や体育に関する行事などを行うスポーツ協会の活動を支援する。								新規／継続		継続			
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8				
	スポーツ協会補助			スポーツ協会補助										
事業費 ・財源	総事業費（千円）		599	総事業費（千円）		599	総事業費（千円）			総事業費（千円）				
	補助金		599	補助金		599								
	特定		一般	599	特定		一般	599	特定		一般		特定	

○評価指標

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)					中間値(事中評価)	(R3)				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	()					中間値(事中評価)	()				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	3	やや高い				成果	③ 現状維持
有効性	3	やや高い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等			特になし				
新年度の要求事項（改革・改善案）			特になし				

○事後評価

区分	年間（4月～3月）				
取組内容	玉野市スポーツ協会の運営費に対して補助を行う。				
成果	体育・スポーツ振興を通じて、市民の心身の健全と明るく豊かな市民生活の向上に寄与した。				
課題	特になし				

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		玉野スポーツセンター運営補助事業						担当課		社会教育課				
目的	対象	市民								政策体系		2 - 8		
	意図	運動・健康活動環境を整える。												
手段	公益財団法人岡山県体育協会に対し補助金を交付し、スポーツセンターの運営を支援する。								新規／継続		継続			
年度別 事業内容	R5			R6			R7			R8				
	運営費補助			運営費補助										
事業費 ・財源	総事業費（千円）		6,270	総事業費（千円）		6,270	総事業費（千円）			総事業費（千円）				
	補助金		6,270	補助金		6,270								
	特定		一般	6,270	特定		一般	6,270	特定		一般		特定	

○評価指標

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	(R3)					中間値(事中評価)	(R3)				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

評価指標(単位)						評価指標(単位)					
年度	現状値	R5	R6	R7	R8	年度	現状値	R5	R6	R7	R8
中間値(事中評価)	()					中間値(事中評価)	()				
実績値(事後評価)						実績値(事後評価)					
目標値						目標値					

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	3	やや高い				成果	③ 現状維持
有効性	3	やや高い				コスト	③ 現状維持
効率性	3	やや高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等			特になし				
新年度の要求事項（改革・改善案）			特になし				

○事後評価

区分	年間（4月～3月）					
取組内容	玉野スポーツセンターの運営費に対して補助する。					
成果	広域スポーツ拠点施設である玉野スポーツセンターの運営費に対し補助を行うことにより、市民のスポーツ活動の推進並びに健康増進を図った。					
課題	特になし					

令和5年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		体育施設管理運営事業						担当課		社会教育課			
目的	対象	市民								政策体系		2 - 8	
	意図	運動・健康活動の場を提供する。											
手段	講座の開設、施設の適正管理を行う。								新規／継続		継続		
年度別 事業内容	R5		R6			R7			R8				
	計画修繕の実施		計画修繕の実施										
	緊急修繕の実施		緊急修繕の実施										
	玉野市立体育施設等指定管理		玉野市立体育施設等指定管理										
	体育施設管理委託		体育施設管理委託										
事業費 ・財源	総事業費（千円）		85,007	総事業費（千円）		80,095	総事業費（千円）			総事業費（千円）			
	電気料		46	電気料		50							
	施設修繕料		7,576	施設修繕料		2,748							
	手数料		44	手数料		44							
	委託料		77,342	保険料		25							
				委託料		77,228							
	特定	348	一般	84,659	特定		一般	80,095	特定		一般		

○評価指標

評価指標(単位)		体育施設の利用者数（人）					評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	(R3)	59,607					中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)		161,817					実績値(事後評価)						
目標値	103,523	120,000	130,000	140,000	150,000		目標値						

評価指標(単位)							評価指標(単位)						
年度	現状値	R5	R6	R7	R8		年度	現状値	R5	R6	R7	R8	
中間値(事中評価)	()						中間値(事中評価)	()					
実績値(事後評価)							実績値(事後評価)						
目標値							目標値						

○事中評価

評価視点			総合評価	A	計画どおりに事業を進めることが適当	今後の方向性	
妥当性	4	高い				成果	③ 現状維持
有効性	4	高い				コスト	③ 現状維持
効率性	4	高い					
前年度の課題等に対する取組状況							
当年度開始後、約半年が経過し、新たに発生した問題等			利用料金制度に移行したことの周知が不十分で、特に、文化団体や市関係課の会議室使用に伴う取扱いについて疑義が生じた。				
新年度の要求事項（改革・改善案）			減免等の取扱いを見直す。				

○事後評価

区分	年間（4月～3月）										
取組内容	体育施設のうち、総合体育館・総合運動公園の管理運営業務について、指定管理者である玉野市スポーツネットワークJVへ委託。渋川ヨット艇庫および北体育館については市が直接管理運営している。										
成果	スポーツ、レクリエーション活動等の指導および普及を図ることで、市民サービスの更なる向上を通じた社会教育施策を充実させることができた。										
課題	渋川ヨット艇庫と北体育館については老朽化が著しいので廃止を検討。										

学 識 経 験 者 に よ る 意 見

■ 玉野市教育振興会 会長 三浦 康男

財政的に相変わらず厳しい折、従来の実施状況を加味しながら事業や計画を工夫しながら、しかも多角的な観点から令和5年度も児童・生徒達の健全な育成を目指していることに対し感謝申し上げます。50事業の内、Aの評価が34、Bの評価が13と成果を挙げていただいています。従来に増して様々な立場からの評価をいただき、評価の精度が高まったと思います。主な事業についてコメントいたします。

○子育て支援事業

将来を担う子どもたちを育成するための支援事業は大切であり、今後ともこの事業は継続してほしい。「たまの子育てアプリ」など各種支援サービスがあり利用登録者数は目標を達成する見込みであるが、利用頻度は多くないので、保護者への啓発が必要であり、子育て支援センターの運営事業など、今後工夫して更なる充実を図っていただきたい。

○PTA運営補助事業

玉野市に限ったことではないが子どもの成長は保護者にとっても関心があり、成果を上げていただいていることに感謝したい。今後も同様に効果を上げ継続して欲しい。

○小学校大規模改造事業

児童生徒の減少に関係なく快適な学習環境は必要であるが、エアコンの整備を進めたりトイレを洋式に変更したりするなど、少ない予算の中、計画的に進めていただいていることに感謝する。更なる充実に向けご尽力をいただきたい。

○玉野市立学校適正規模化計画策定事業

社会が急速に変化する中で、未来の学校・園づくりについて考えることは、大きな意義があると思います。中高一貫教育が進む中、教員だけでなく児童生徒も校種を超えた交流を進め、新しい学校・園について議論を深め、その結果を実践に結びつけてほしいと思います。

○グローバル人材育成事業

これからの日本は、国内のみでなく外国との交流が今以上に必要となり、この事業はとても重要であると思う。外国語指導助手の生の外国語に接することは、コミュニケーション能力の向上には、配置の教師以上の効果があると思う。さらに充実することを期待している。

○たまのの魅力再発見・発信事業

上記事業で、外国との交流が必要だと記述したが、そのためには国内のこと、地域の事をまずは知ることが大切である。地域の事を学ぶ、知ることや地域の良さを発見する、さらに発信していくことは大切である。そのことが、玉野は素晴らしいところと実感することに繋がると思う。

○支援員配置事業

児童生徒はますます多様化しており、一人ひとりを大切に、それぞれの児童生徒に適した指導援助をするためには、この事業はとても重要だと思う。今後とも、更なる充実を期待している。

○文化協会運営補助事業

地域の活動に目を向けると、公民館での多彩な活動が多いことに気がつく。市内には文化的な活動をしている団体も多く、活動の支援や活動費の補助は大切だと思う。継続してほしいと思う。

○市民コンサート事業

「音楽に国境は無い。」と言われるように、音楽は誰でも親しめ、心を豊かにするものである。大きなコンサートホールがない中、各団体はいろいろ工夫して実施している。いろいろな面での支援を、今後も継続してもらいたい。財政が許せば、早い時期での施設の建造を望む。

○トップアスリート・トップアーティスト招聘補助事業

市内にはいろいろな面で優れた人材が多い。国内外で優れた実績を上げた者のみではなく、そのような人の協力を得ながら、補助事業を進めても良いと思う。事業名を別のものにして、同内容の事業を推進することも検討してもらいたい。トップアスリート・トップアーティストでない駄目と思っている人もいるように思う。

■ 玉野市 PTA 連合会 会長 中島 正人

平素から玉野市の教育全般にわたりご尽力いただけていることに感謝申し上げます。

この度、令和5年度教育委員会の事務に関する点検・評価の報告を受け、玉野市教育委員会が「玉野市教育振興基本計画」に基づき、市民参加による施策づくりを推進し、人間尊重の精神を基調にした生涯学習社会の実現を目指した取り組みに努めておられることに、あらためてお礼申し上げます。

重点施策①充実した子育て環境の提供

ライフステージの各段階に応じた切れ目のない子育て支援を行ってくださっていることに感謝申し上げます。放課後児童クラブにつきましては、今後は、適正規模化による学校再編と足並みを揃えた新体制の準備が必要だと感じます。また、少年団体運営につきましては、子ども会が1団体であること、かつ増加の可能性は見込めないことから、時代の変化に応じた見直しの必要性を感じます。

重点施策②教育環境の充実

学校適正規模化による小中学校の統廃合の進行状況により、今後大きく変化があるものと思われます。各種施設の準備、環境整備に力を注いで下さっていることに感謝いたします。

重点施策③学校教育の充実と地域人材の育成

全ての取り組みにおいて A 評価となっており、教育の充実のためにご尽力いただいていることに感謝申し上げます。給食センターの設立により、より安全・安心な給食が提供されていることもうれしく思います。不登校や様々な課題を抱える児童が増加しており、支援員やサポートスタッフ、教育サポートセンターの充実は今後さらにニーズが高まるものと思われます。すべての子どもの学びを止めないために、十分な予算の確保や人材確保ができますことを願っています。

重点施策④生涯学習活動の推進

生涯学習振興のため、様々な事業をされていることに感謝いたします。

重点施策⑤芸術・文化活動の推進

市民コンサートの入場者数が増加したことは、多くの市民が音楽に触れる機会を持ちたいと思っていることの反映だと捉えます。吹奏楽部も頑張っています。広く演奏会が行われるための場と機会の提供が充実できるように、ニーズのあるところに必要な予算が回るように事業の精選の検討が必要だと思います。

重点施策⑥スポーツ活動の推進

スポーツの振興のため、スポーツ施設の管理・運営、またスポーツ活動の指導に努めてくださっていることに感謝いたします。

今後も私たち玉野市 PTA 連合会は、玉野市教育委員会と力を合わせて活動をしていきますので、よろしくお願いいたします。

■ 玉野商工会議所青年部 事業委員会委員長 加藤 優子

令和5年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告の説明を受け、コロナ禍を経て一年が経過したのち、より様々な事業に関してステップアップが見え、安心、安全に玉野市子どもたちに貴重な経験や体験ができるよう甚大な努力が伺えたこと、心より感謝申し上げます。

全体的な評価も例年に引き続き A、B が殆どと、顕著な活動をされていると思いました。その上で、さらなる飛躍、充実を期して、いくつかの事業についてコメントいたします。

○ p 14 子育て支援事業

子育てアプリの活用をより推進していただき、公的な情報のみならず民間の子育て支援の施設や居場所等の紹介など工夫を指定いただけると良いと感じました。

○ p 31 グローバル人材育成事業

A L T の積極的な配置、本当にありがとうございます。その上で、教科の評価とのバランスや講師の先生方の教えることについてのスキルの向上等も図ってくださると嬉しいです。

○ p 33 たまのの魅力再発見・発信事業

すばらしい取り組みだけに、どこで発信しているのかをもっと広報して広く周知すべきだと感じました。

○ p 45 公民館整備事業

予算的な問題や、学校の統廃合の問題も絡むので一概には言えませんが、災害時には、やはり地域のインフラとしての役割もになっていると感じますので今の数を維持できるように工夫してほしいと思います。

行政をはじめとし、家庭、学校、地域全体で健全、安全に子供たちを育てる環境を作りたいと心から願っております。今後も引き続き素晴らしい事業展開と玉野市教育委員会の益々のご発展をお祈りしております。

玉野市民憲章

瀬戸内の美しい自然に恵まれた私たちは、郷土の発展とおたがいの幸福を願って、この憲章を生活のささえとします。

- 1 健康で、明るくはたらかしましょう。
- 2 みんな仲よく、助けあいましょう。
- 3 きまりを正しく、守りましょう。
- 4 緑と花のまちを、育てましょう。
- 5 世界に伸びる玉野を、つくりましょう。

市花 『つつじ』



市木 『ば べ』



市魚 『めばる』

